

RADIO CONTROLLED ELECTRIC POWERED RACING BUGGY

4WD OFF-ROAD RACER

OPTIMA

- ★ DESIGNED FOR HIGH PERFORMANCE
- ★ FOUR-WHEEL DRIVE FOR MAXIMUM TRACTION
- ★ SELECTABLE FRONT/REAR POWER BIAS
- ★ EXTRA LONG WISHBONES FOR NEGLIGIBLE BUMP STEERING
- ★ SPIKE TIRES OPTIMIZED FOR FOUR-WHEEL DRIVE
- ★ LIGHT WEIGHT FOR QUICKEST ACCELERATION
- ★ SHIELDED DRIVE CHAIN FOR LONGEST LIFE
- ★ TRUE GEAR-TYPE DIFFERENTIALS FRONT AND REAR
- ★ PRECISION-MOLDED DRIVETRAIN GEARS FOR SMOOTH POWER DELIVERY
- ★ LOW-RESISTANCE SPEED CONTROLLER FOR LOW POWER LOSS
- ★ HIGH GROUND CLEARANCE AND LONG SUSPENSION TRAVEL
- ★ OIL-FILLED SHOCK ABSORBERS ON ALL WHEELS
- ★ HIGH-STRENGTH ALUMINUM AND GLASS-FILLED NYLON PARTS
- ★ PERFECT 50-50 WEIGHT DISTRIBUTION
- ★ TRUE-GEOMETRY ACKERMAN STEERING LINKAGE
- ★ EASY STEP-BY-STEP ASSEMBLY INSTRUCTIONS

1/10スケール 電動ラジオコントロール レーシング バギー
4WDオフロードレーサー オプティマ

1:10 SCALE

BATTERY: 7.2V-1200mAh

RADIO: 2ch.

(NOT INCLUDED)



組立て説明書

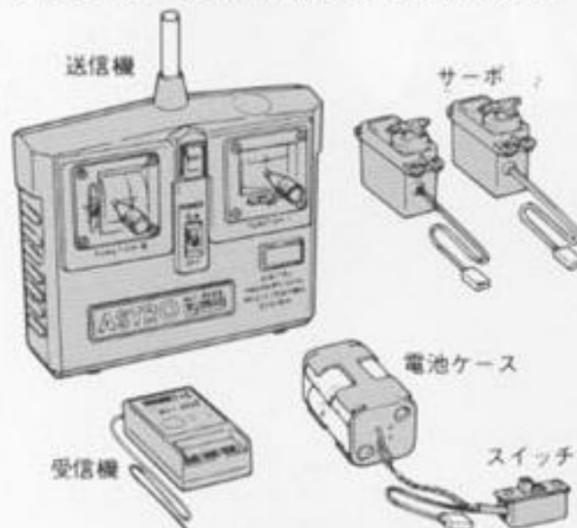
KYOSHO
THE FINEST RADIO CONTROL MODELS

◀ KIT No.4032 ▶

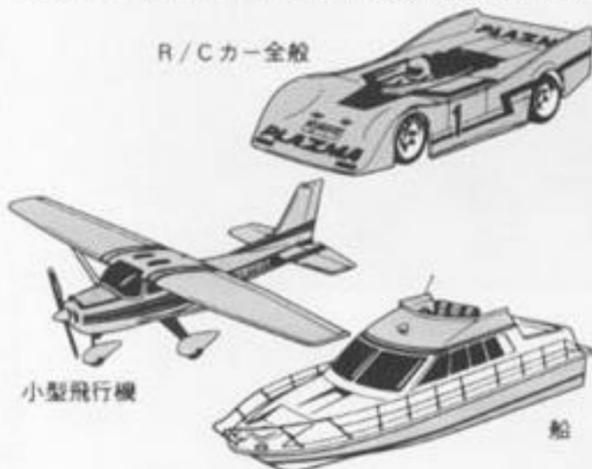
- ★コンパートメント四輪駆動システム
- ★デファレンシャルギヤ 前後2基装備
- ★ダブル ウィッシュボーン式 四輪独立懸架
- ★オイルダンパー4基フル装備

4WD OFF-ROAD RACER OPTIMA

ラジオコントロールプロポとは
このラジオコントロールモデルには2チャンネル・2サーボ・デジタルプロポ方式のラジオコントロール(R/C)メカを使用します。



2チャンネルプロポは1セット購入しておけばいろいろなR/Cモデルを操縦できます。(2チャンネルプロポでR/C操縦できるもの)



ニカドバッテリーとは

正式にはニッケルカドニウム電池といい充電して繰り返し使用できる電池なので乾電池よりはるかに経済的で電圧も一定しているので、R/Cモデルの動力用電源に最も適したバッテリーです。

京商では6N-1200バッテリーとか7.2Vレーシングバッテリーというように明記し販売しております。

6N-1200バッテリーとは、1.2V1200ミリアンペアの電池を6本直列にパックしたバッテリーです。

※ニカドバッテリーはR/Cカー、船などいろいろなR/Cモデルに使用できます。

キット以外にお求めいただくもの

〈2チャンネルプロポ〉
プロポの送信機にはスティックタイプとハンドルタイプがあります。自分に合ったものをお求め下さい。



〈走行用ニカドバッテリー〉
このR/Cカーには京商7.2Vレーシングバッテリーが使えます。



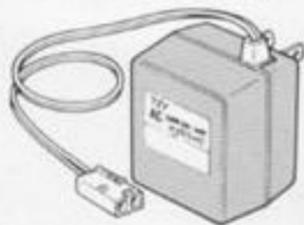
〈ニカドバッテリーの充電器〉

京商ニカドバッテリーは高性能で正しく充電すれば長期間、使用ができます。充電方法は家庭用100Vコンセントから行なう15時間充電器と自動車のシガーライター又は12Vバッテリーから行なう急速充電器(約15分)があります。使用目的に合った充電器を下の表より選んでお求め下さい。

品番	充電器名	充電時間	充電%	特長	価格
No.2221	スーパーニカド充電器(AC100V)	14~15時間	100%	初心者向	¥ 1,700
No.2207	スーパーニカド急速充電器(DC12V)	15分	約70%	初心者向 タイマー式	¥ 4,800
No.1846	マルチチャージャー(DC12V)	20分	100%	タイマー式 電流計付	¥ 6,800
No.1848	オートチャージャー(DC12V)	約20分	100%	デルタピーク検知式 電流計、電圧計付	¥ 12,800
No.2232	スーパーニカドAC急速充電器	約40分	約80%	家庭用電源から充電 電子タイマー式	¥ 4,900

No. 2221
スーパーニカド充電器

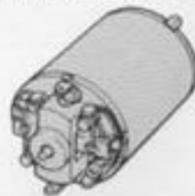
No. 1848
オートチャージャー



〈モーター〉

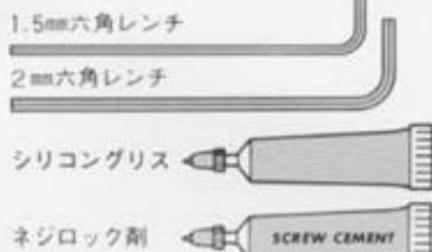
オプティマにはマブチRS-540Sモーターが標準装備してありますがレース用にマッチングしたレーシングモーター・シル・マン600E、(汎用ハイトルクタイプ)とシル・マン360PT、(ハイパワー、ハイトルクタイプ)を用意しております。

モーターには付属品としてコード、コンデンサー、取付ビスが入っています。



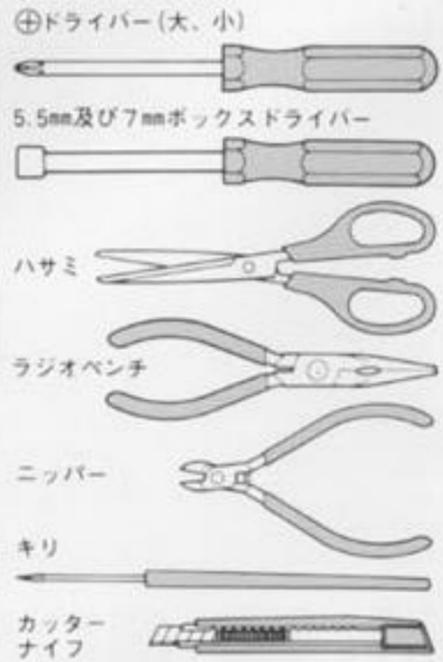
組み立てに必要な工具と接着剤など

〈キットに入っている工具〉

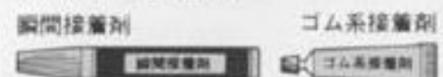


走行中の振動などによりビス、ナットなどがゆるんだり脱落を防ぐのに使います。

〈用意する工具等〉



〈用意する接着剤〉

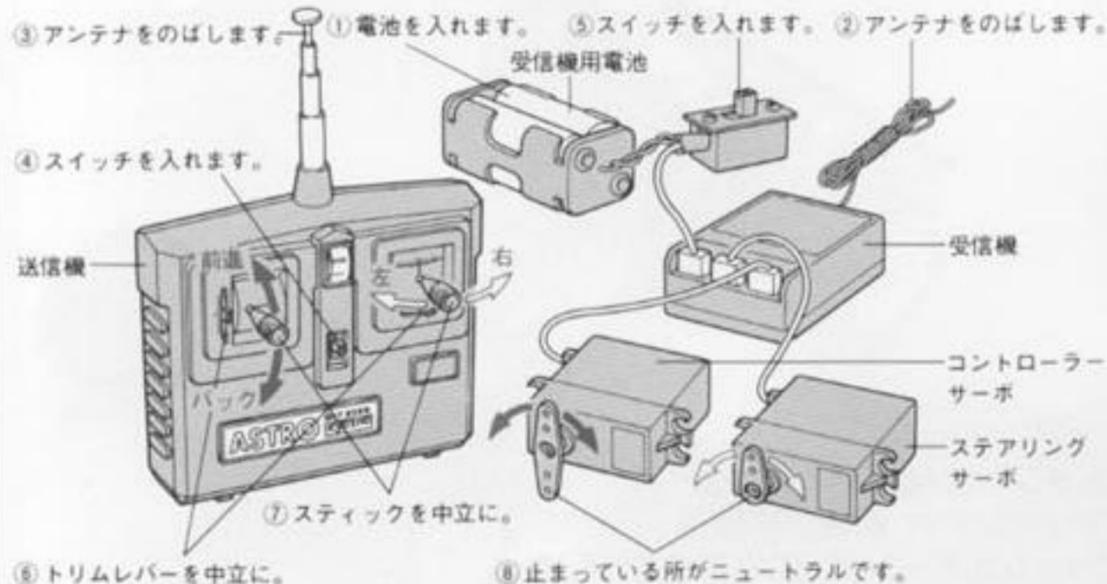


〈塗装に必要なもの〉



※塗装については取扱書の塗装の項にくわしく出ています。

プロポのチェック 番号順にラジオコントロールメカを動作してみます。



※プロポのスイッチを入れるときは送信機を入れてから受信機のスイッチを入れます。切るときは逆に受信機、送信機の順に切るようくせをつけましょう。

2チャンネルプロポは、送信機、受信機、サーボ、電池ボックスなどから成り立っています。

- 送信機.....操縦するコントロールボックスでスティックの動きを電波でアンテナから発信します。
- 受信機.....送信機からの電波を受けサーボに送ります。
- サーボ.....受信機が受けた電波をモーター、ギヤを使い車のコントロール部を動かす装置です。
- アンテナ.....送信機のアンテナは電波を送り出し、受信機のアンテナは電波が入る重要なものなのでいっばいにのびし使います。
- トリムレバー.....送信機のトリムレバーはサーボの中立(ニュートラル)をずらし、車の右、左のステアリング及びコントローラーの前進、バックの位置を微調整するレバーです。
- レベルメーター.....送信機の電池の減り及び電波の発振状態を確認するメーターです。
- サーボホーン.....サーボと車のコントロール部をつなぐもので種類があり、使用目的にあった形状を使用します。

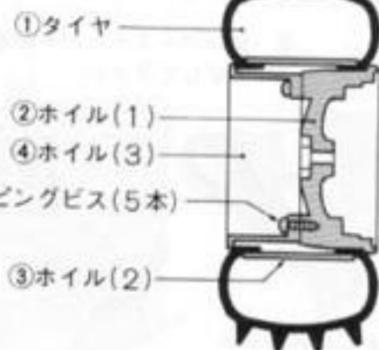
4 タイヤのくみだて

●ビス、ナット、ワッシャー等は原寸で図示してあります。原寸図に合わせて長さや大きさを合わせ、くみだて下さい。

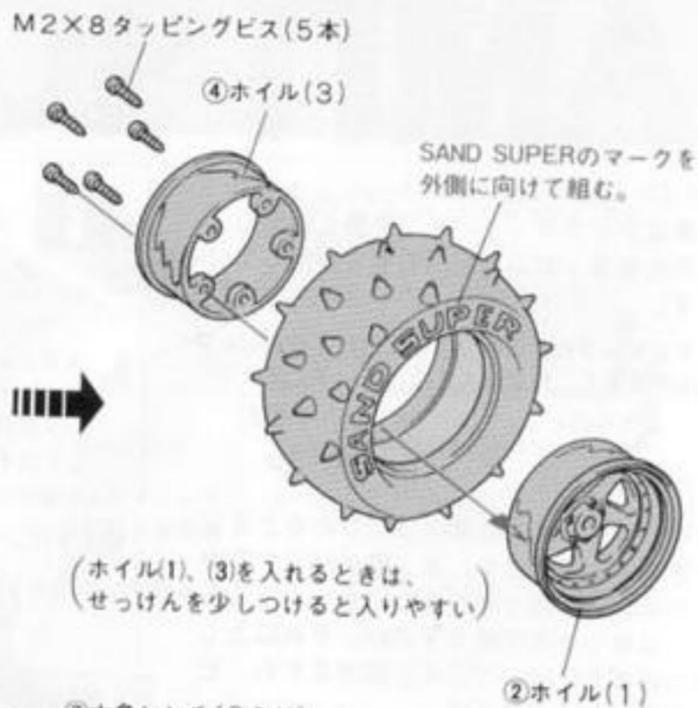
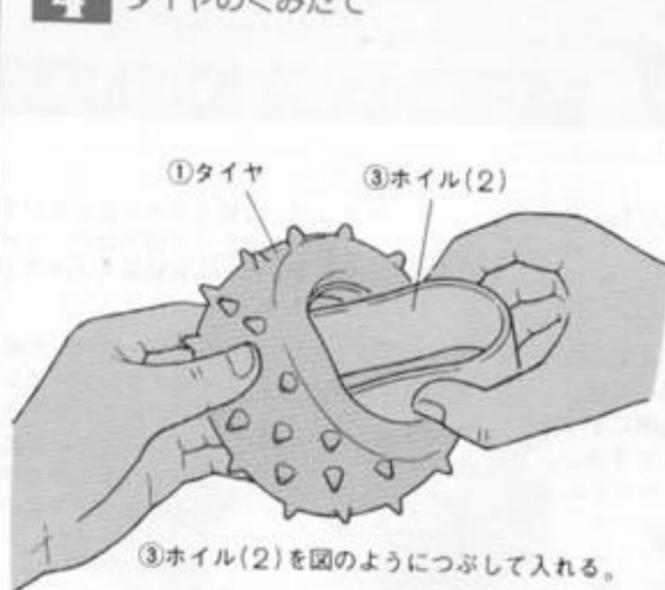
〈使用する小物パーツ〉

M2×8タッピングビス…20

〈タイヤとホイールの組立断面図〉



4 タイヤのくみだて



5 ジョイントのとりつけ

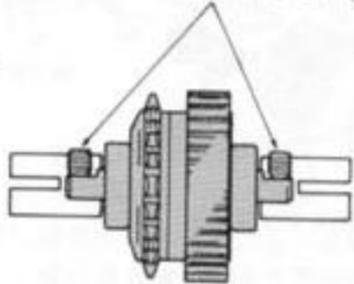
〈使用する小物パーツ〉

M4×4イモネジ…4

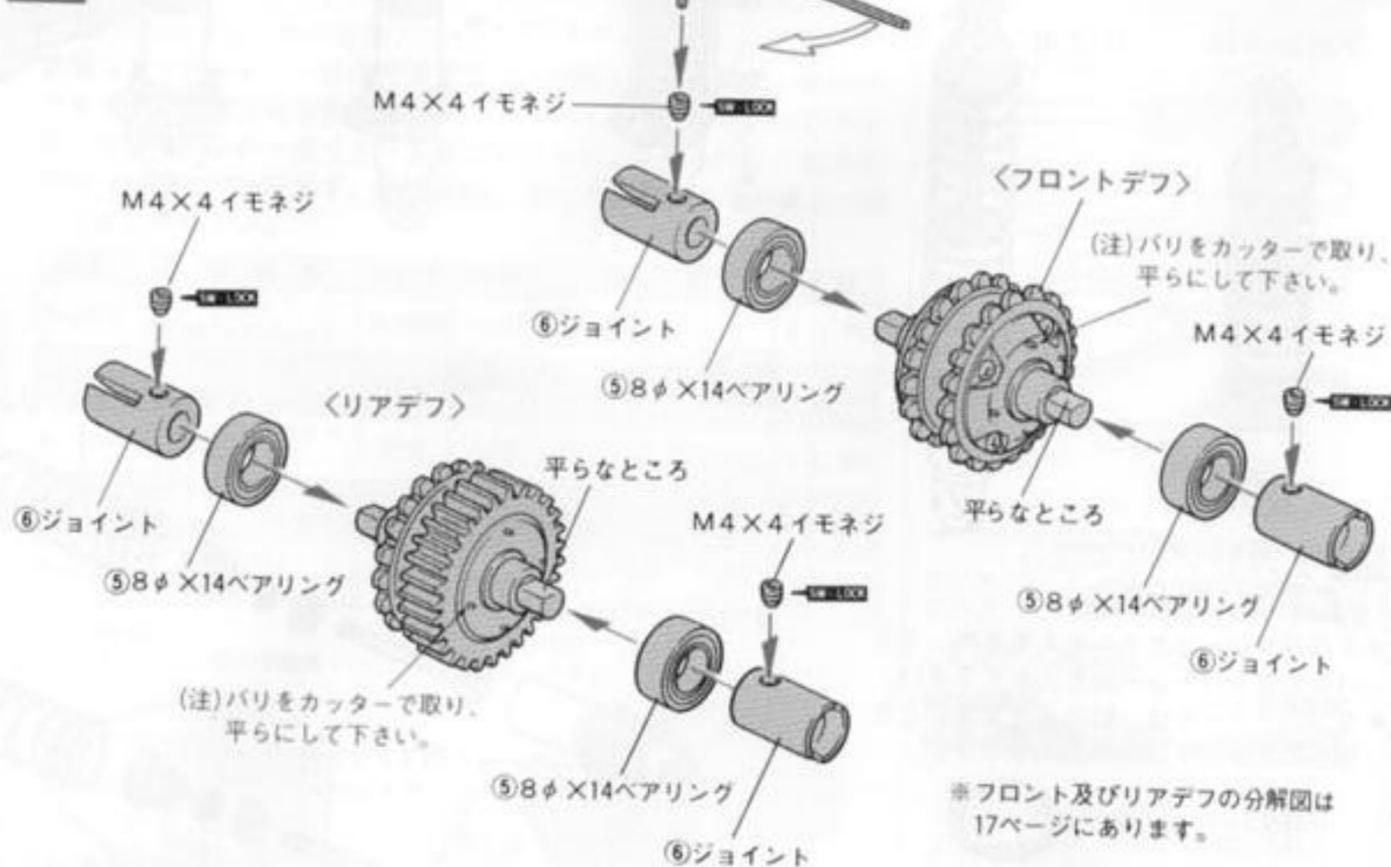
⑤8φ×14ベアリング…4

⑥ジョイント…4

M4×4イモネジをシャフトの平らなところに合わせ、ネジをしめて下さい。



5 ジョイントのとりつけ



※フロント及びリアデフの分解図は17ページにあります。

6 ギヤボックスのくみだて

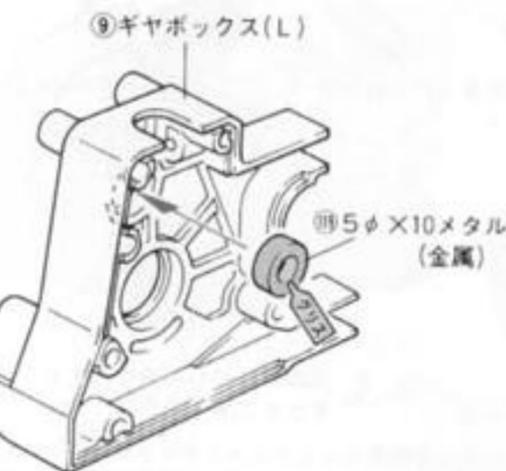
〈使用する小物パーツ〉

M3×18タッピングビス…3

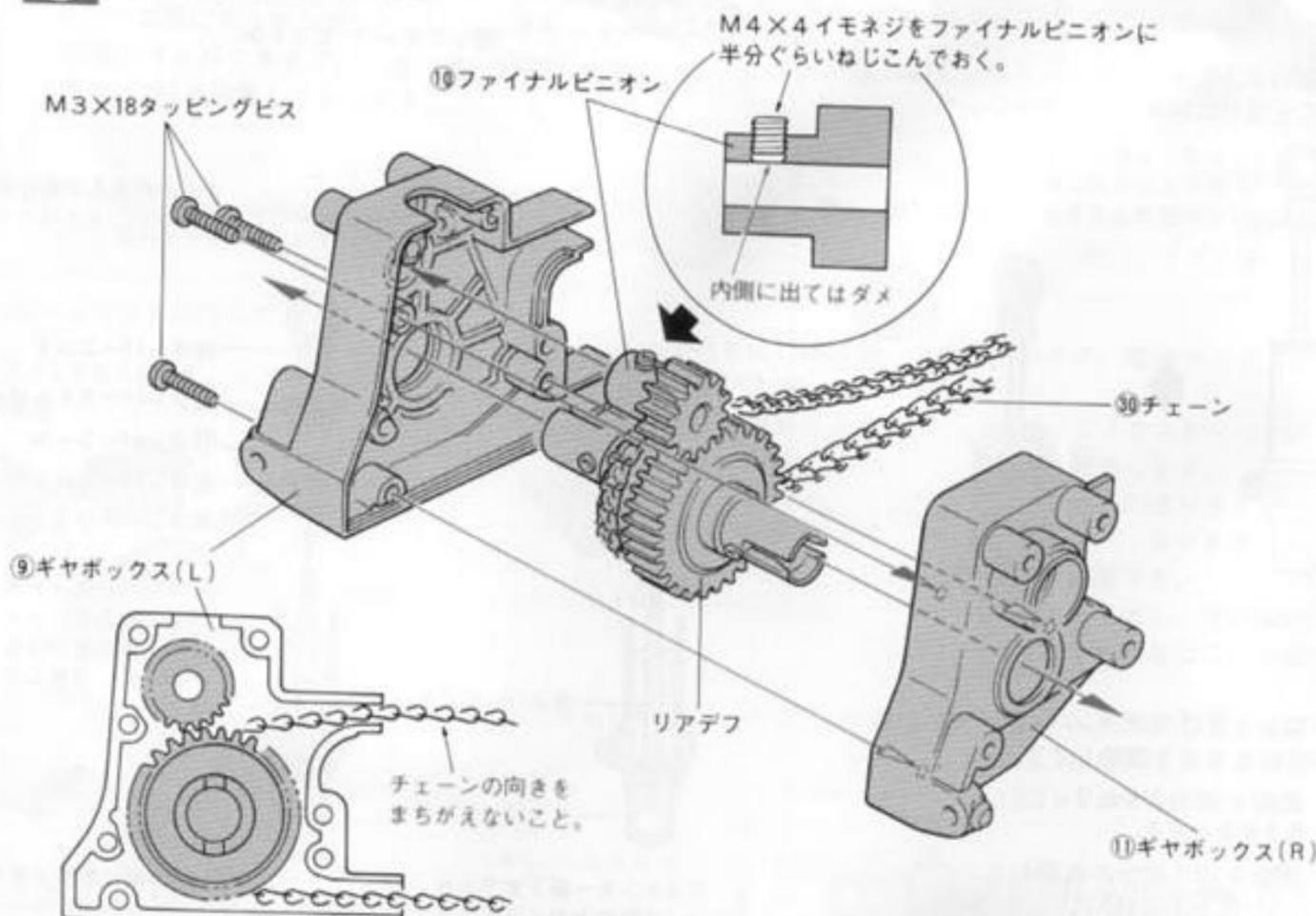
M4×4イモネジ…1

⑩5φ×10メタル(金属)…1

5φメタルを入れる〉



6 ギヤボックスのくみだて



⑨ギヤボックス(L)に各パーツを図のようにセットし、⑪ギヤボックス(R)をかぶせる。

7 ギヤベースのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×8ビス……………3

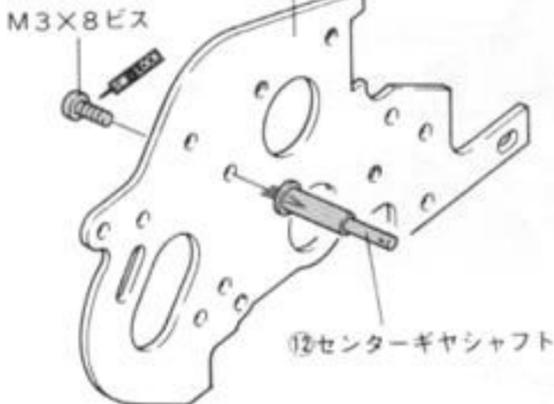
M3×45バインドビス……4

⑫センターギヤシャフト…1

M3スプリングワッシャー…4

〈センターギヤシャフトのとりつけ〉

⑬リアプレート(R)



8 ファイナルピニオンのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

⑩5φ×10メタル(全金属)…1

9 リアダンパーステアのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×12タッピングビス…2

M3×15ビス……………2

M3ナット……………4

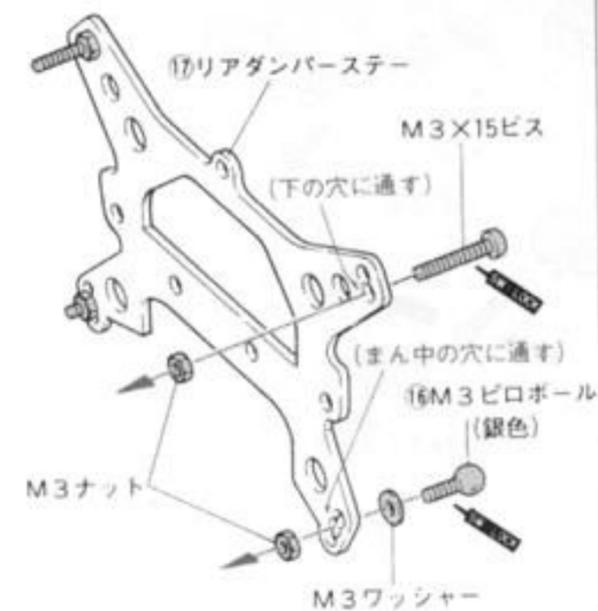
M3ワッシャー……………2

⑩M3ピロボール(銀色)…2

⑬ギヤボックスハッチ…1

(プラスチック)

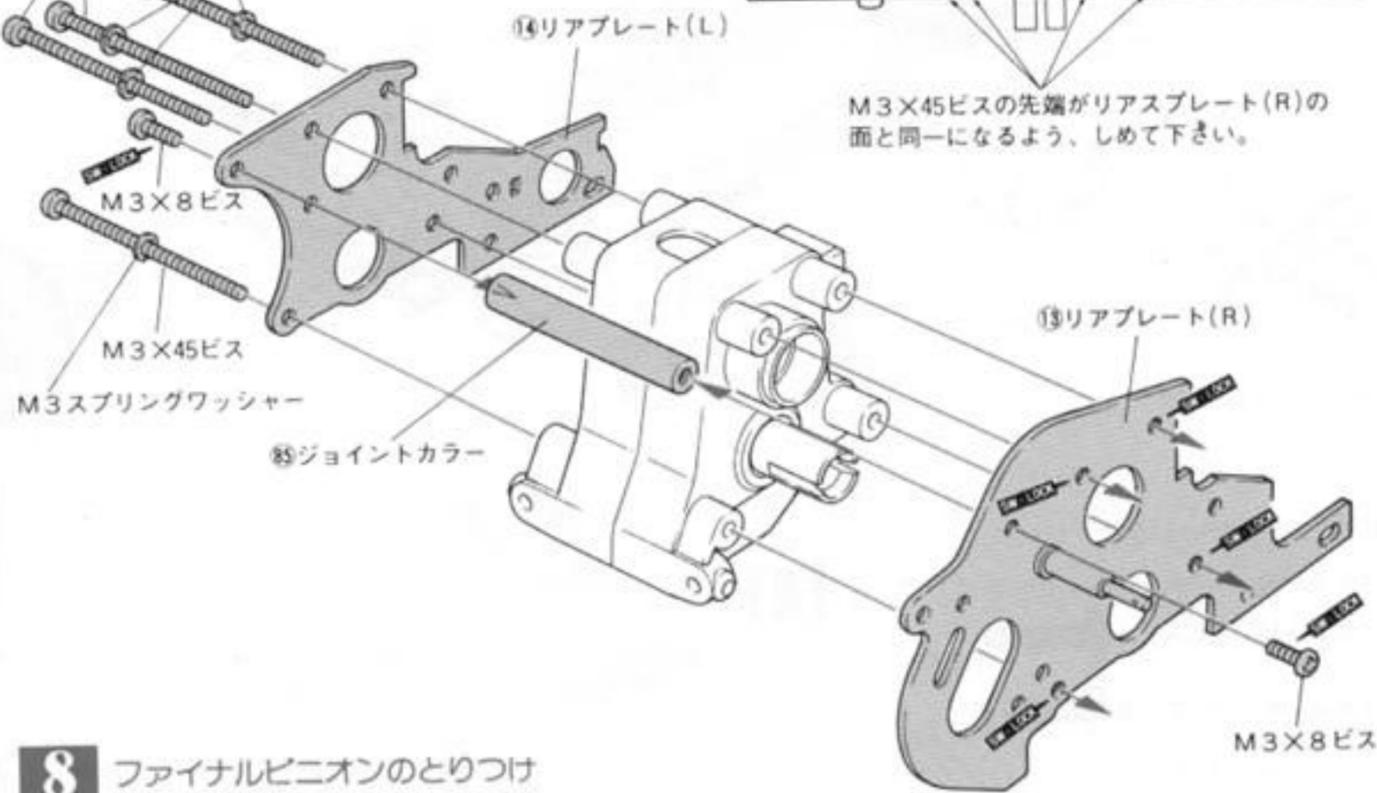
〈リアダンパーステアにビスをとりつける〉



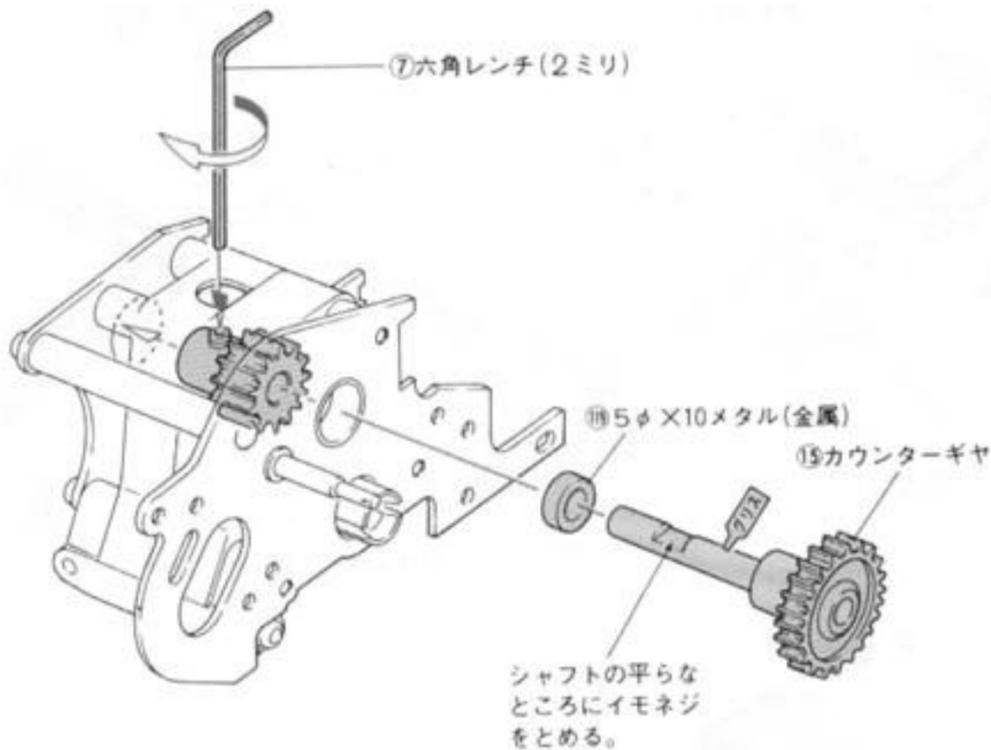
7 ギヤベースのとりつけ

M3×45バインドビス

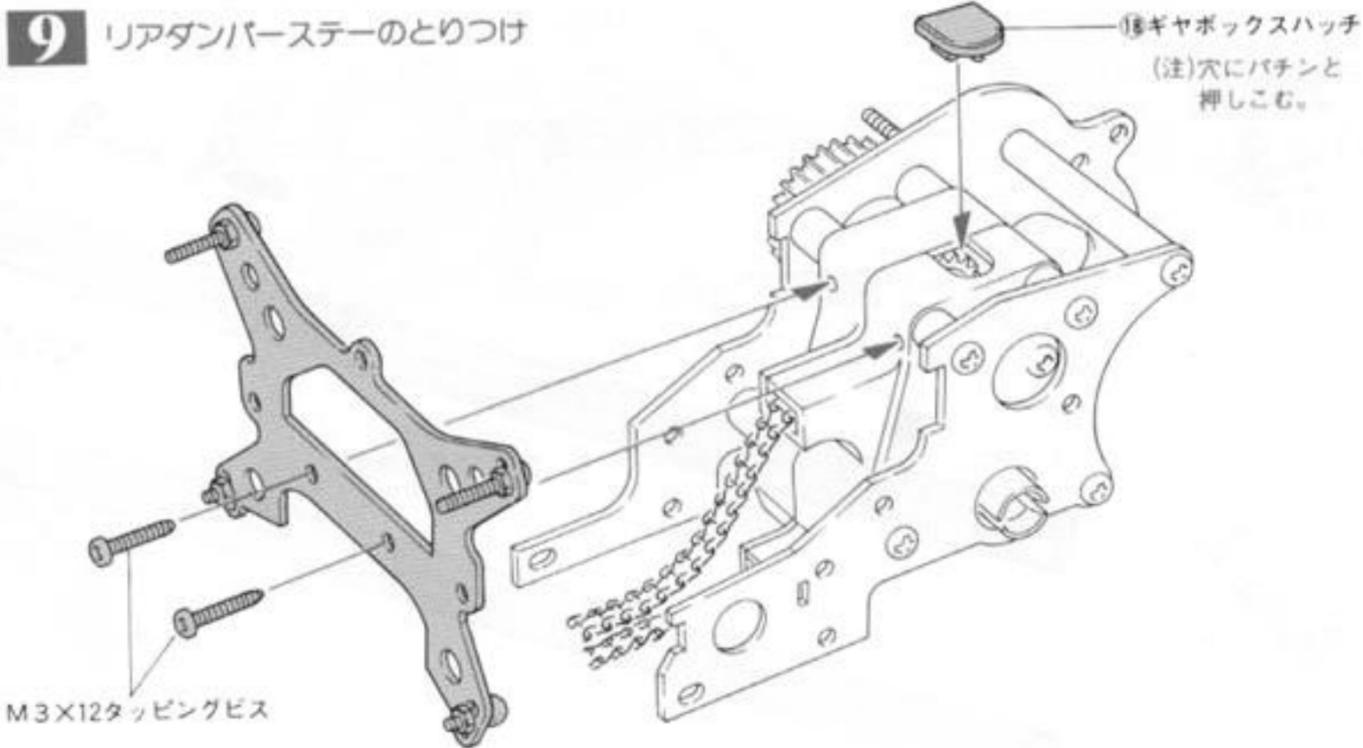
M3スプリングワッシャーを通しておく。



8 ファイナルピニオンのとりつけ



9 リアダンパーステアのとりつけ



10 バルクヘッドのくみだて

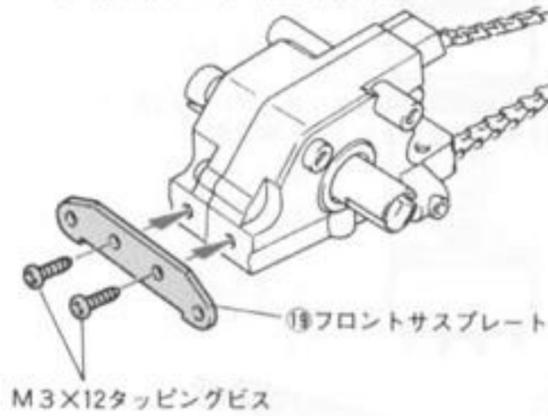
〈使用する小物パーツ〉

M3×12タッピングビス…3

M3×18タッピングビス…1

〈フロントサスプレートのとりつけ〉

※右図の組立がすんだら下図のように19フロントサスプレートをとりつける。



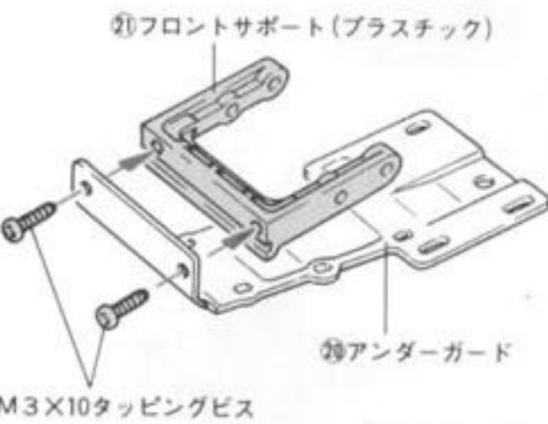
11 アンダーガードのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×10タッピングビス…4

M3×8タッピングビス…2

〈フロントサポートのとりつけ〉



12 リアプレートのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

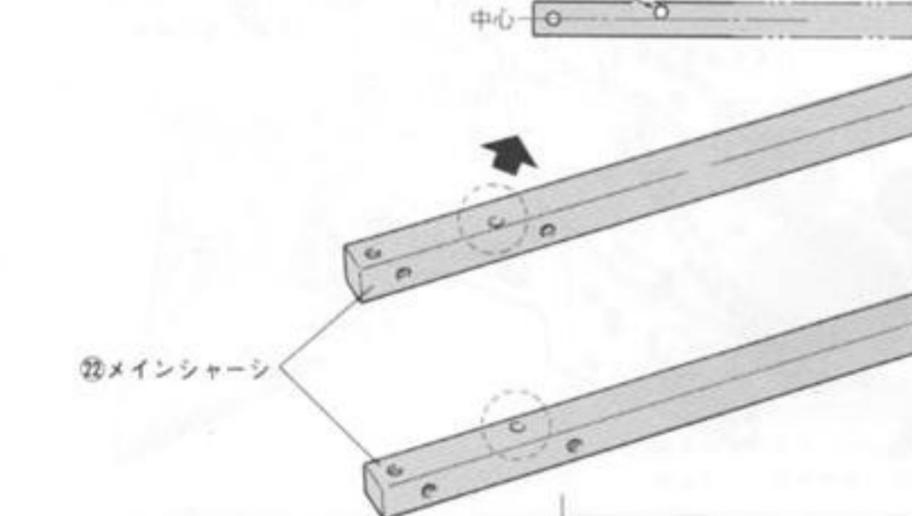
M3×8ビス……………4

M3×8タッピングビス…2

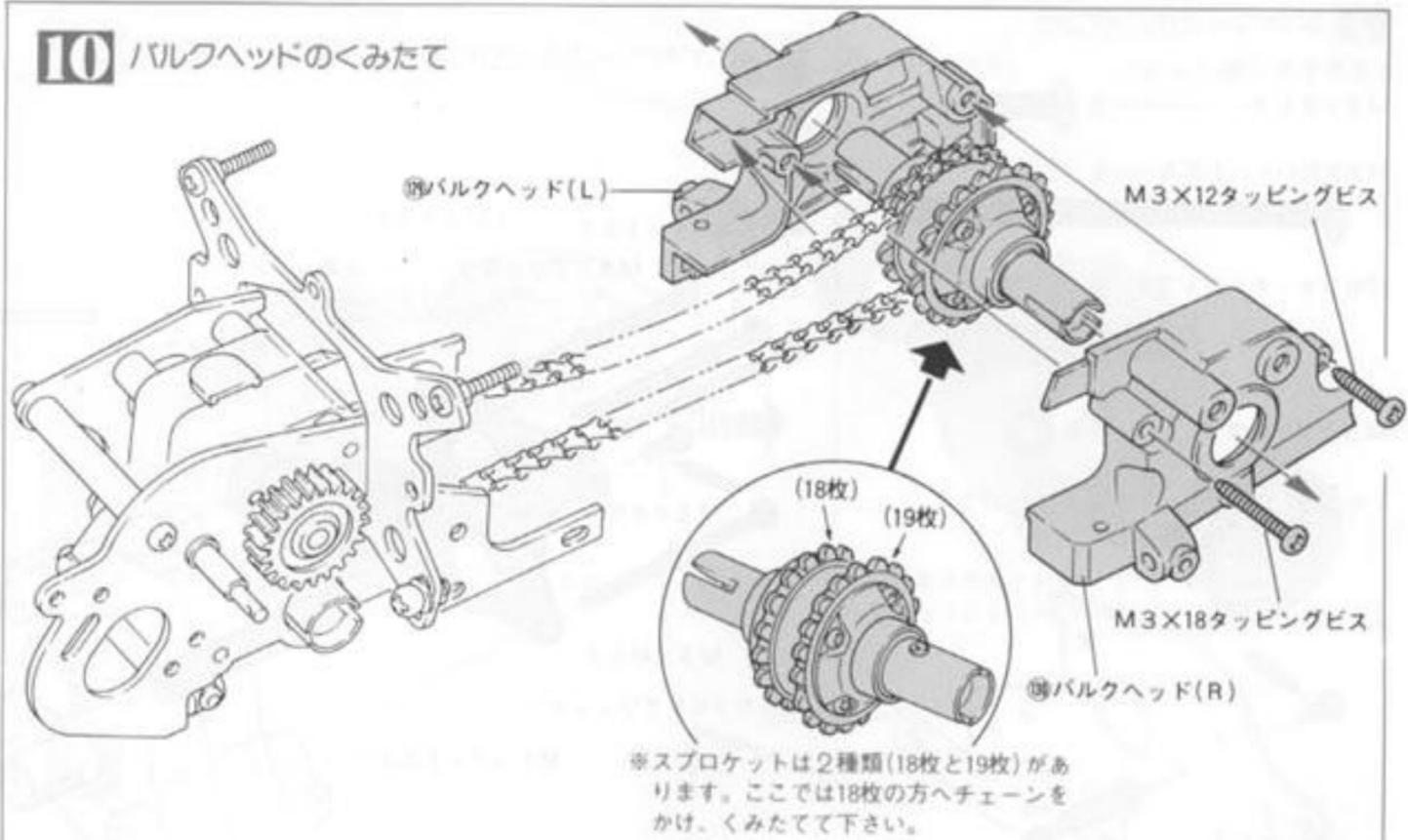
22リアメカポスト……………2
(大きい方)(プラスチック)

〈注意〉

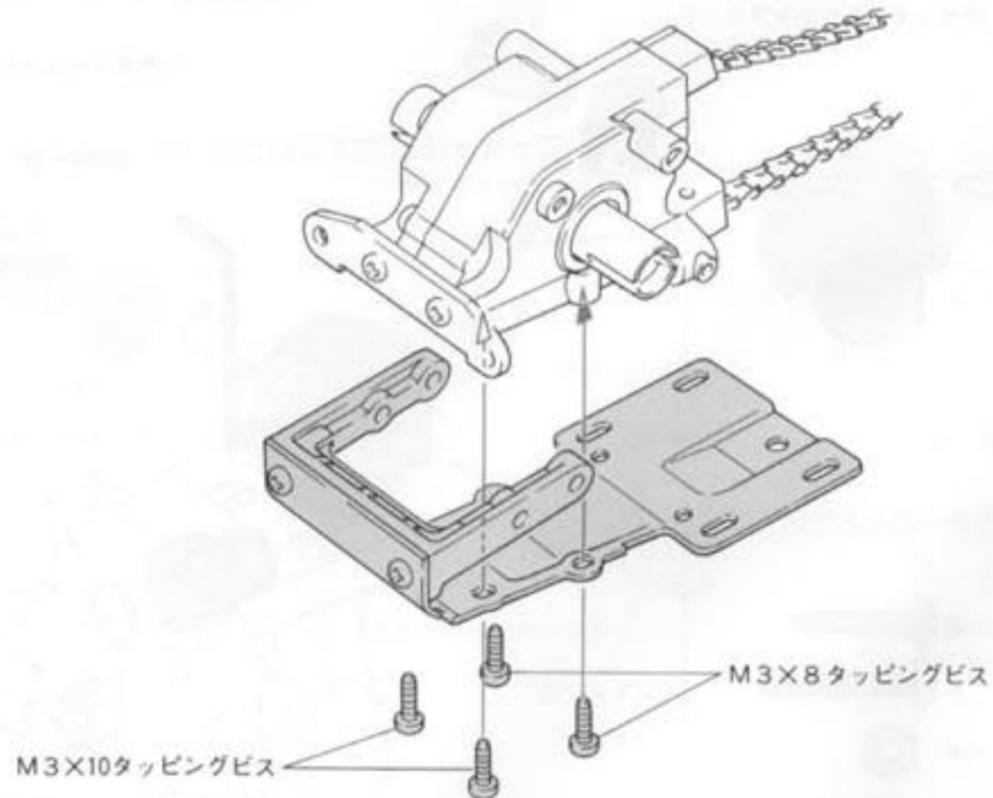
この穴は中心よりズレてあいています。図のように穴が内側によっている方を内側にしてくみだて下さい。



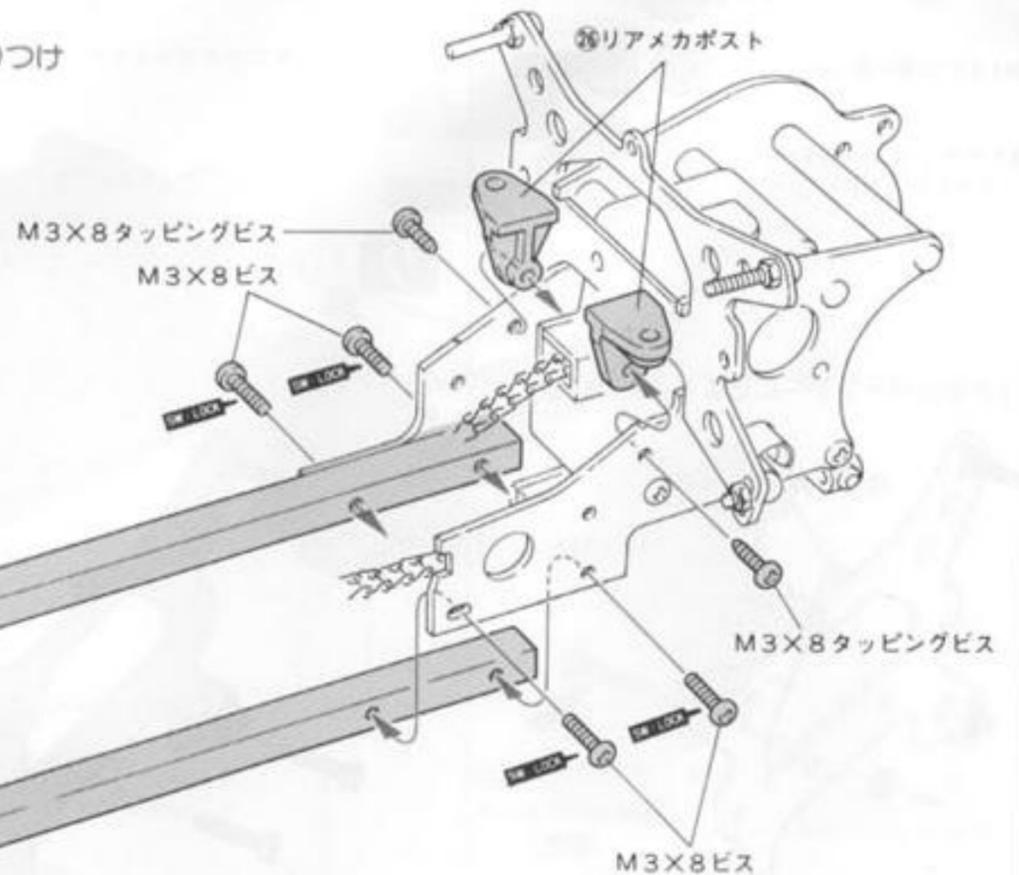
10 バルクヘッドのくみだて



11 アンダーガードのとりつけ



12 リアプレートのとりつけ



13 バルブヘッドのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2.6×6バインドビス…2



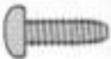
14 フロントサイドプレートのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2.6×6バインドビス…4



M3×8タッピングビス…2



M3×12タッピングビス…2



M3×16タッピングビス…2



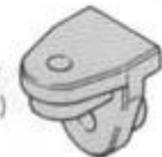
29フロントアッパーピボット(L)…1
(プラスチック)



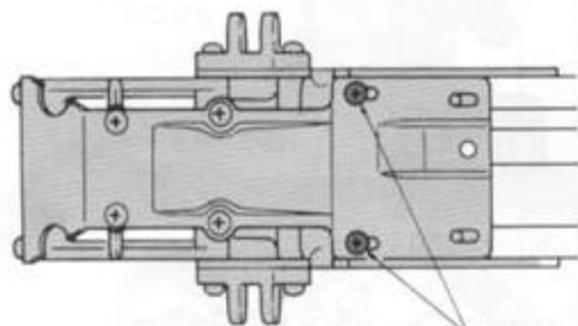
29フロントアッパーピボット(R)…1
(プラスチック)



27フロントメカポスト…2
(小さい方) (プラスチック)

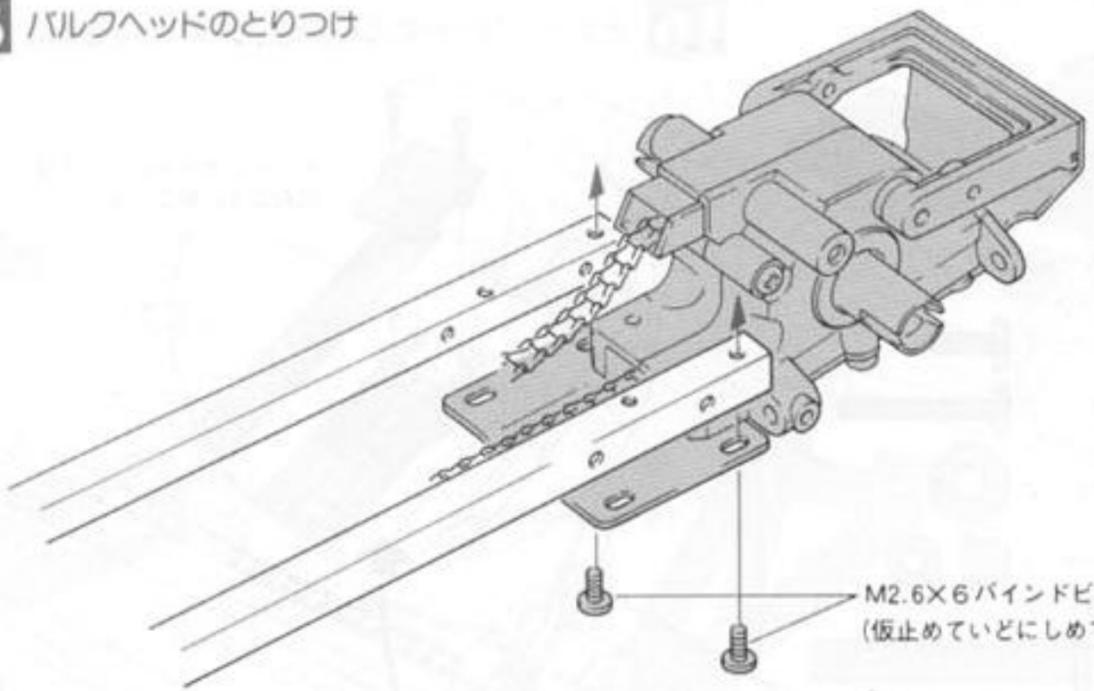


15 チェーンの張り調整



2本(下側)

13 バルブヘッドのとりつけ



M2.6×6バインドビス
(仮止めていどにしめておく)

14 フロントサイドプレートのとりつけ

M3×12タッピングビス

M2.6×6バインドビス
(仮止めていどにしめておく)

M3×16タッピングビス

Lのマーク

29フロントアッパーピボット(L)

29フロントサイドプレート

M3×8タッピングビス

27フロントメカポスト

29フロントサイドプレート

29フロントアッパーピボット(R)

M3×16タッピングビス

Rのマーク

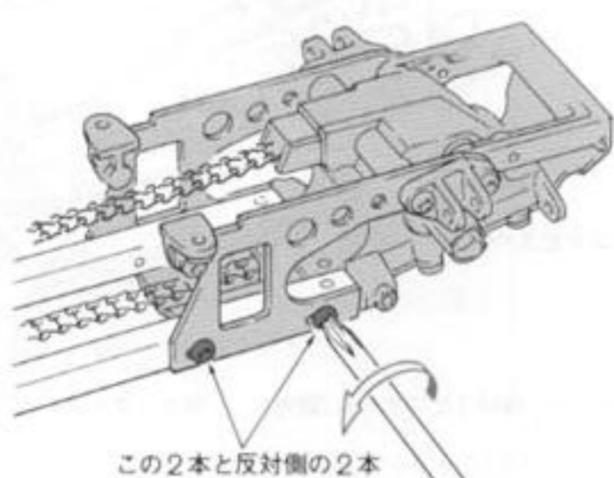
M3×12タッピングビス

27フロントメカポスト

M3×8タッピングビス

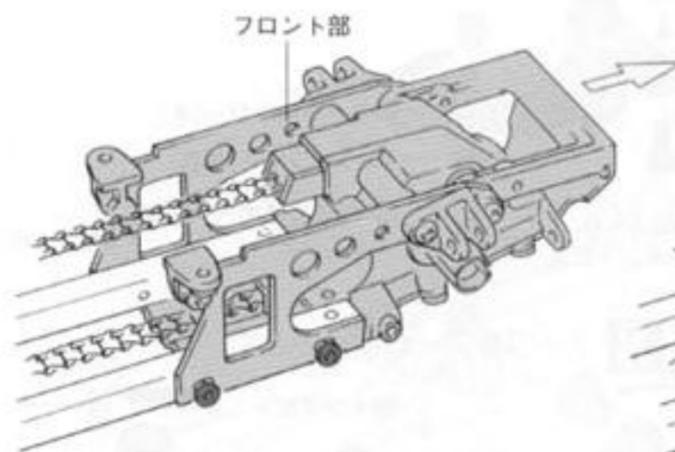
M2.6×6バインドビス
(仮止めていどにしめておく)

15 チェーンの張り調整

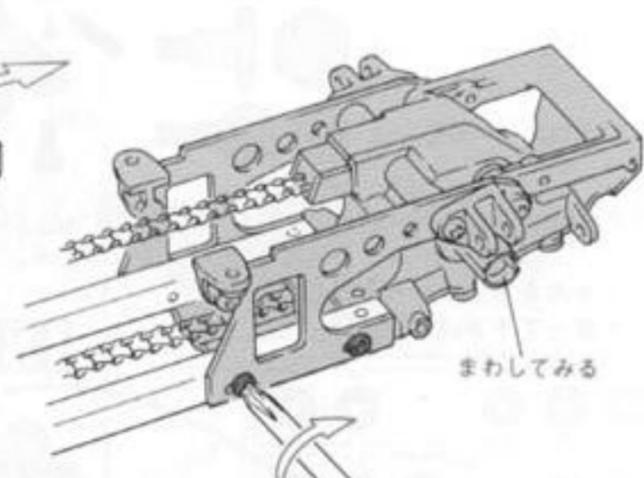


この2本と反対側の2本

1. 上図の赤くぬられた6本のビスを約半回転ぐらいゆるめて下さい。



2. チェーンが軽く張る位置までフロント部を前にずらして下さい。



まわしてみる

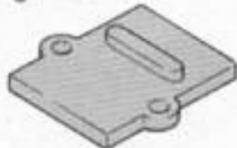
3. チェーンが軽く張り、スムーズに回転する位置で6本のビスをしめて下さい。

16 チェーンガイドのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2X8タッピングビス...2

29チェーンガイド(C).....1
(プラスチック)



17 サーボセーバーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2.6X6バインドビス.....1

M2.6X15バインドビス.....2

M2.6ワッシャー (黒色) ...2

31ボールナット.....3

32サーボシャフト(A).....1

33サーボシャフト(B).....1

36M2シャフト.....1

37ボールエンド(小).....2

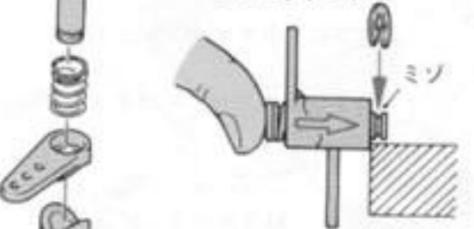
38M2.6ピロボール(黒色).....2

39サーボセーバー.....1

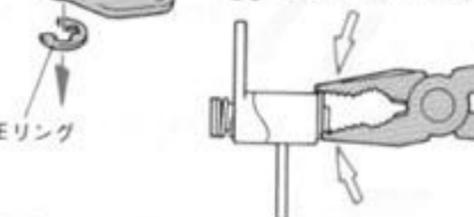
〈サーボセーバーのくみたち〉

34サーボセーバー(A).....1組

1. Eリングはサーボセーバーを机などに強く押しつけてミゾにさしこみ...



2. ペンチなどで止める。



18 ナックルアームのくみたち

〈使用する小物パーツ〉

M2.6ナット.....2

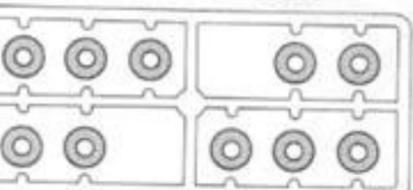
M3ピロボール(銀色).....4

38キングピン.....4

38M2.6ピロボール(黒色).....2

38ブラメタル.....4

ブラメタルをカッターなどで切りはなし、バリを取って下さい。(10ヶ)



〈ナックルアームにブラメタルを入れる〉

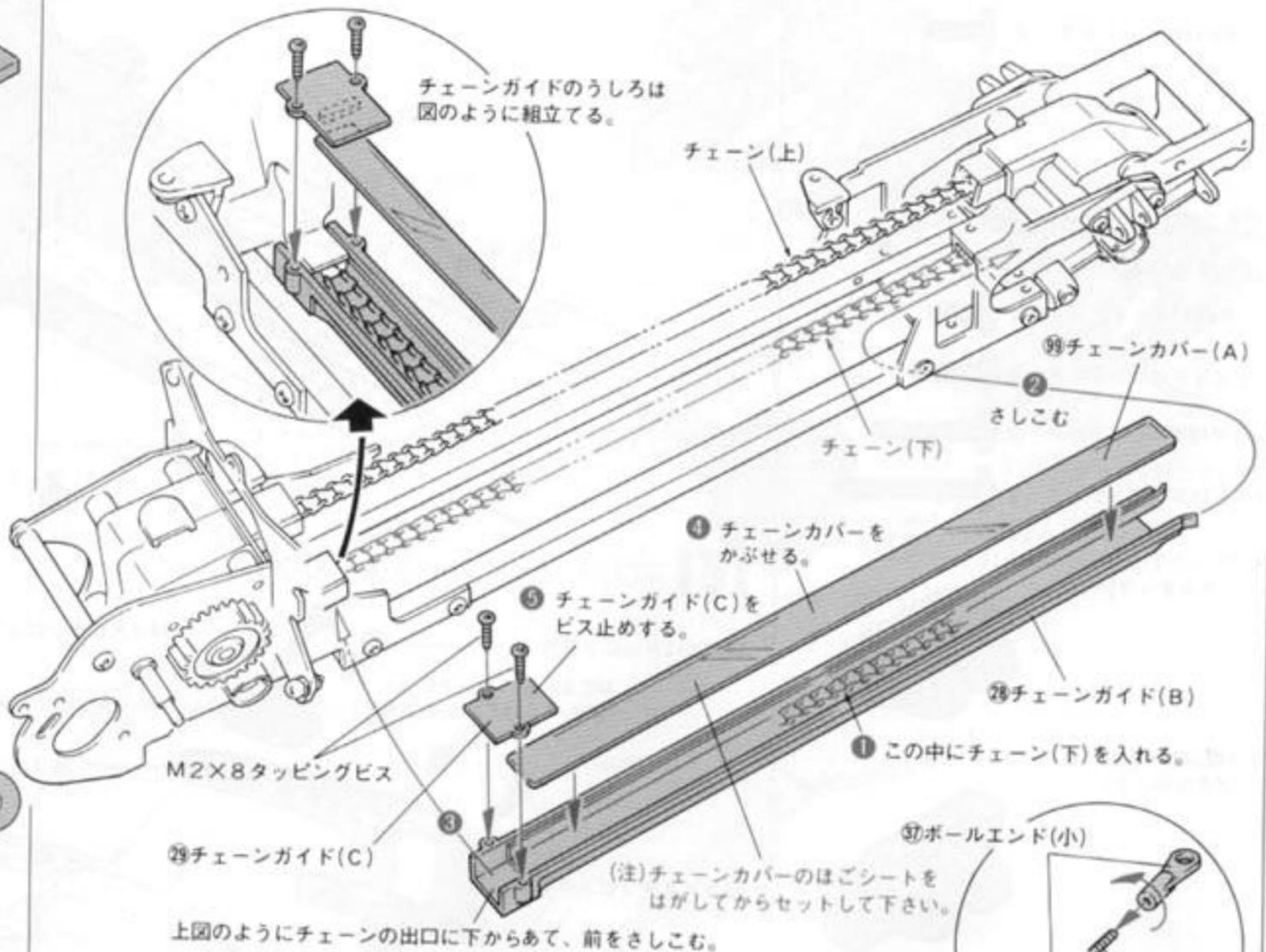
38ブラメタル 41フロントシャフト



※39ナックルアーム(L)も同じようにくみたち。

16 チェーンガイドのとりつけ

①~⑤の順にくみたちます。



17 サーボセーバーのとりつけ

〈ボールエンドのカット〉

19ミリのこし、この部分をカッターナイフで切りとって下さい。



31ボールナット
32サーボセーバー(B)
M2.6ワッシャー(黒色)
38M2.6ピロボール(黒色)

31ボールナット
34サーボセーバー(A)
2.6ワッシャー(黒色)
38M2.6ピロボール(黒色)
M2.6X6バインドビス

32サーボシャフト(A)
33サーボシャフト(B)
34サーボセーバー(A)
35サーボセーバー(B)
36サーボセーバー
37ボールエンド(小)
38M2シャフト
※ボールエンドがくっつくまでねじこむ。
M2.6X15バインドビス

18 ナックルアームのくみたち

38キングピン
38M2.6ピロボール(黒色)
40ナックルアーム(R)
M2.6ナット
38キングピン
41フロントハブ(R) (プラスチック)
16M3ピロボール(銀色)
39ナックルアーム(L)
(注)ナックルアーム(L)・(R)は、まちがえやすいので、かくにんしてとりつけて下さい。
すきまを1ミリあけて下さい。
42フロントハブ(L) (プラスチック)

19 フロントサスアームのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×4イモネジ……………2

④Eリング(E-2.5)……………2

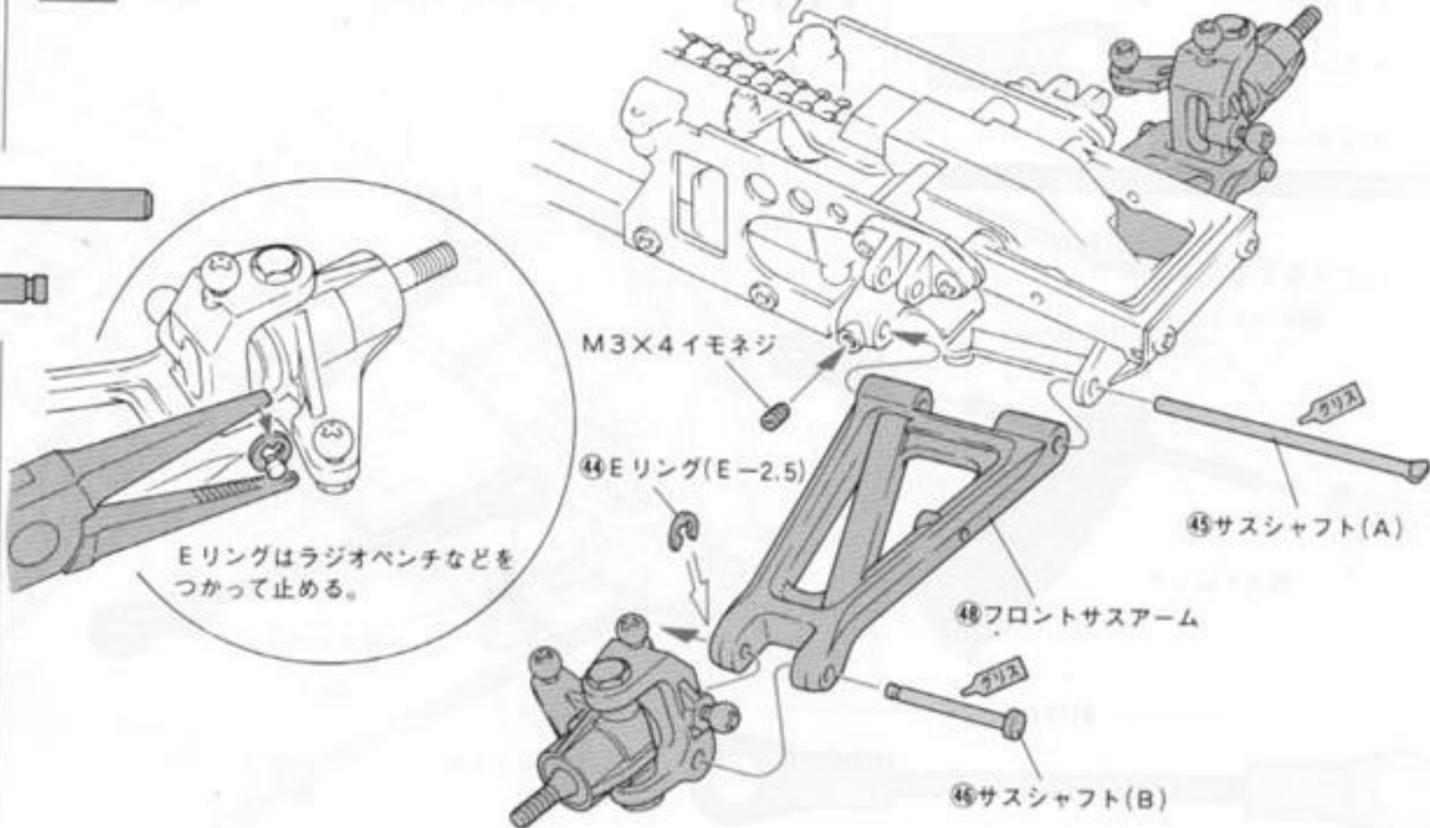
⑤サスシャフト(A)……………2

(短い方)
(銀色)

⑥サスシャフト(B)……………2

(短い方)(銀色)

19 フロントサスアームのとりつけ



20 フロントアッパーロッドのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×15ビス……………4

M3ナット……………2

M3ナイロンナット……………2

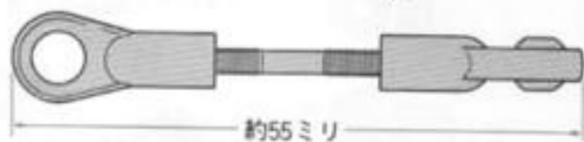
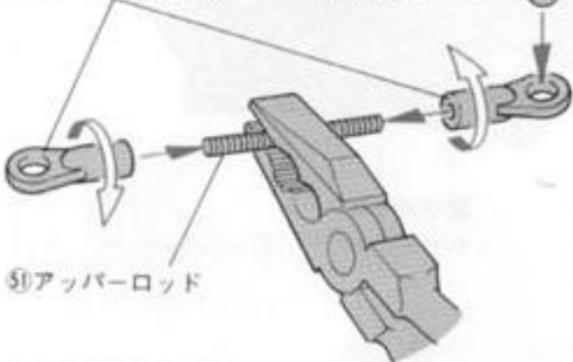
⑨5.8φボール……………2

⑩ボールエンド(大)……………4

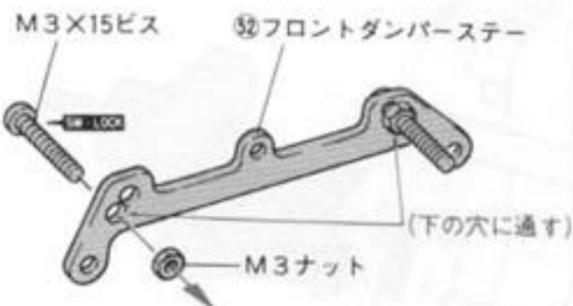
⑪アッパーロッド……………2

〈アッパーロッドを2本つくります〉

⑩ボールエンド(大) ⑨5.8φボール



〈フロントダンバーステーにビスをとりつけます〉



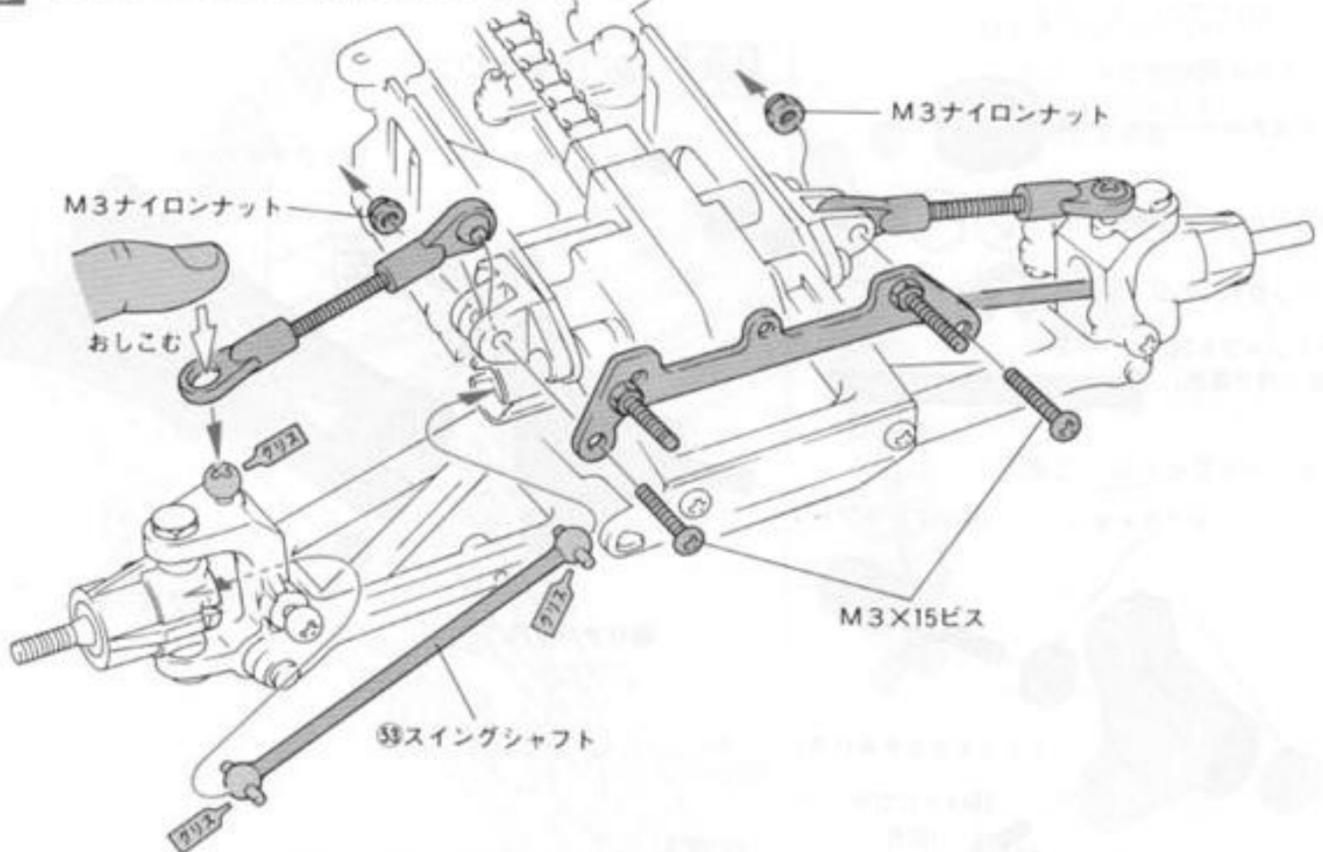
21 フロントダンパーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

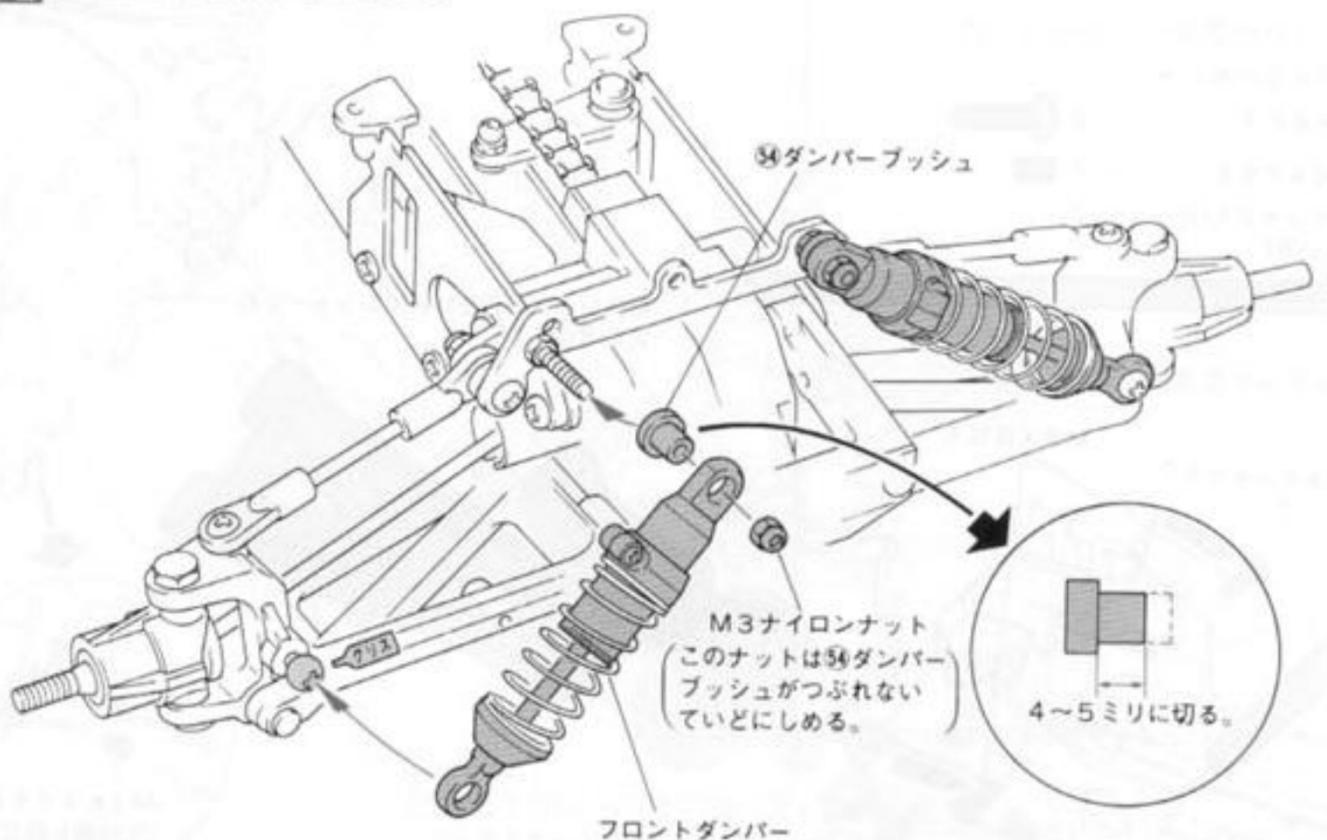
M3ナイロンナット……………2

⑬ダンパーブッシュ……………2
(黒いゴム)

20 フロントアッパーロッドのとりつけ



21 フロントダンパーのとりつけ

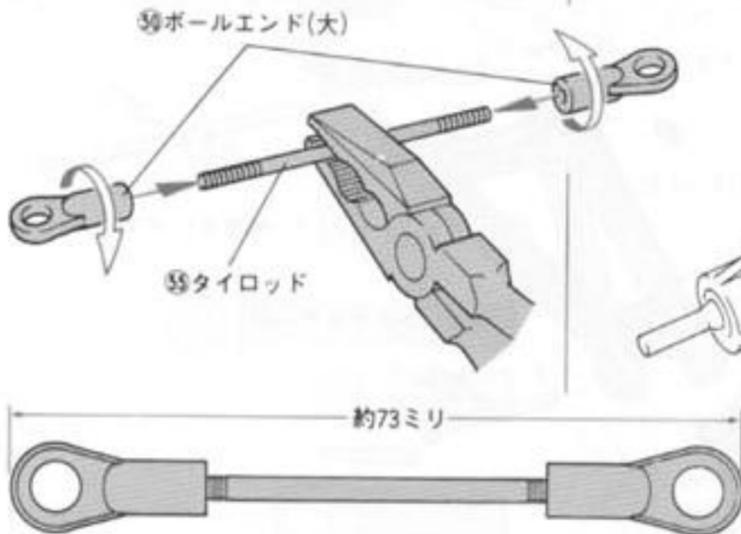


22 タイロッドのとりつけ

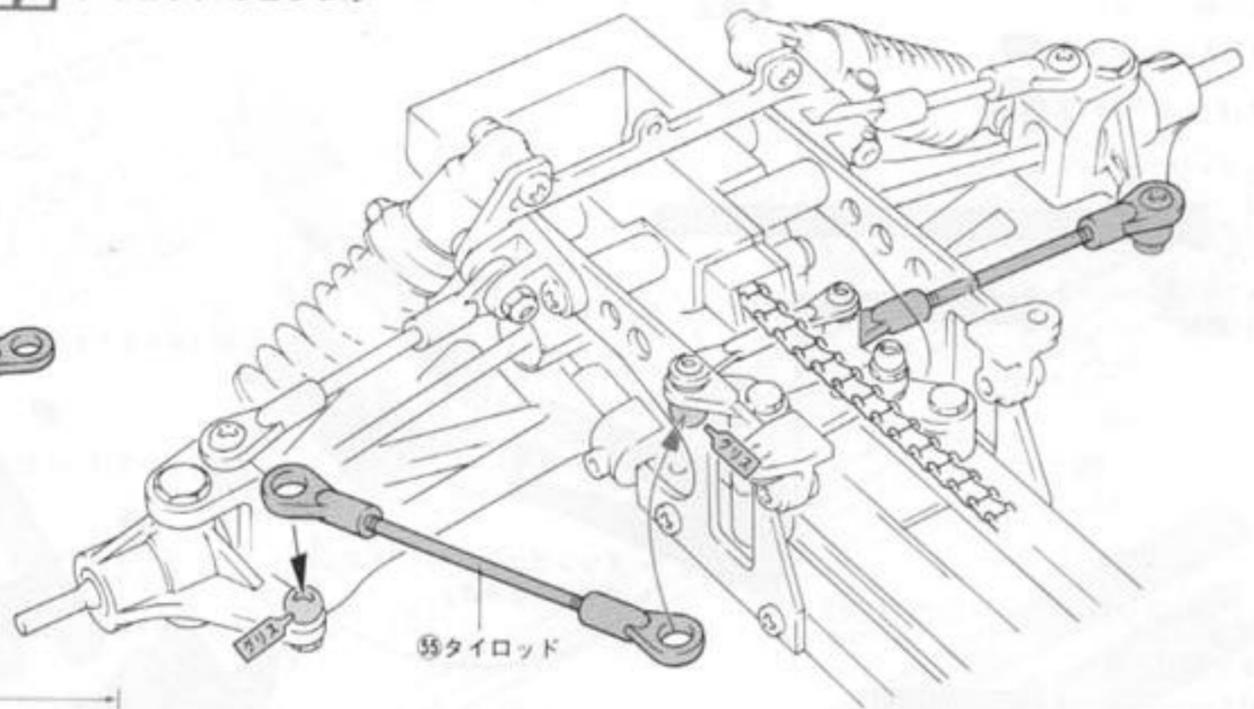
〈使用する小物パーツ〉

- 59ボールエンド(大).....4
- 55タイロッド.....2

〈タイロッドを2本つくります〉



22 タイロッドのとりつけ

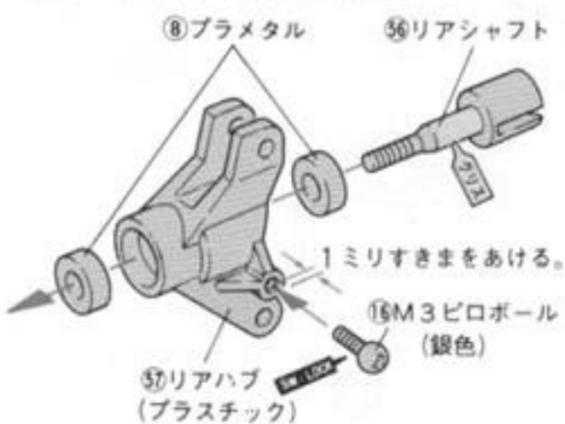


23 リアハブのとりつけ

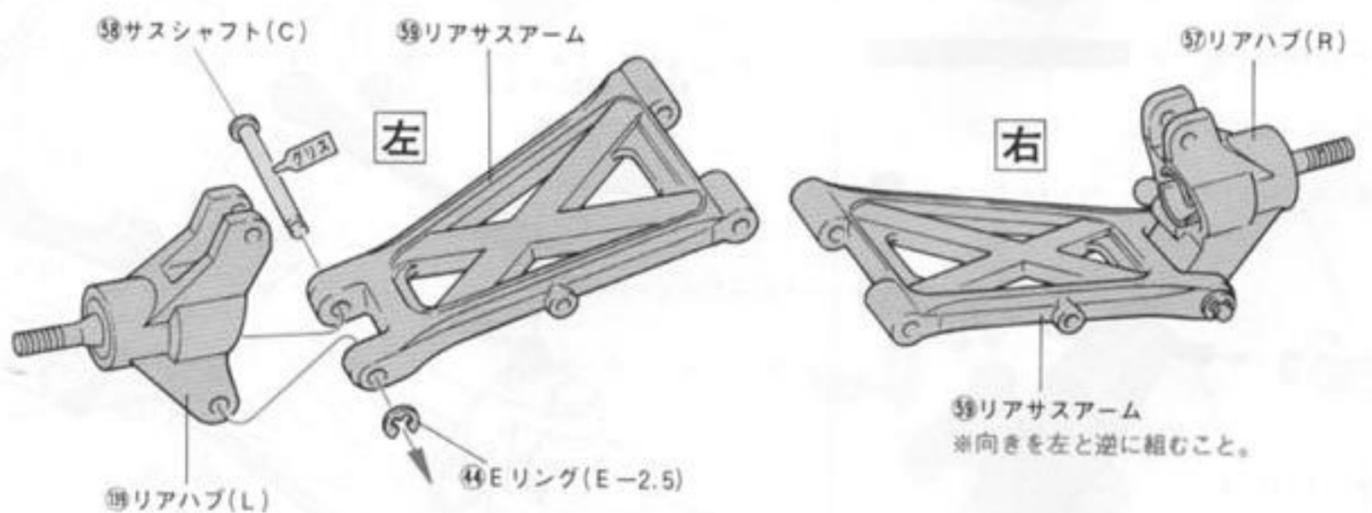
〈使用する小物パーツ〉

- 8ブラメタル.....4
- 16M3ピロボール(銀色).....2
- 4Eリング(E-2.5).....2
- 58サスシャフト(C).....2
(長い方で黒色)

〈リアハブを2ヶくみたまます〉



23 リアハブのとりつけ

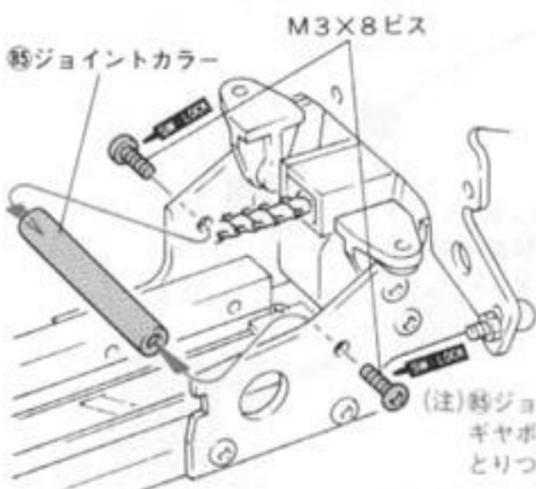


24 リアサスアームのとりつけ

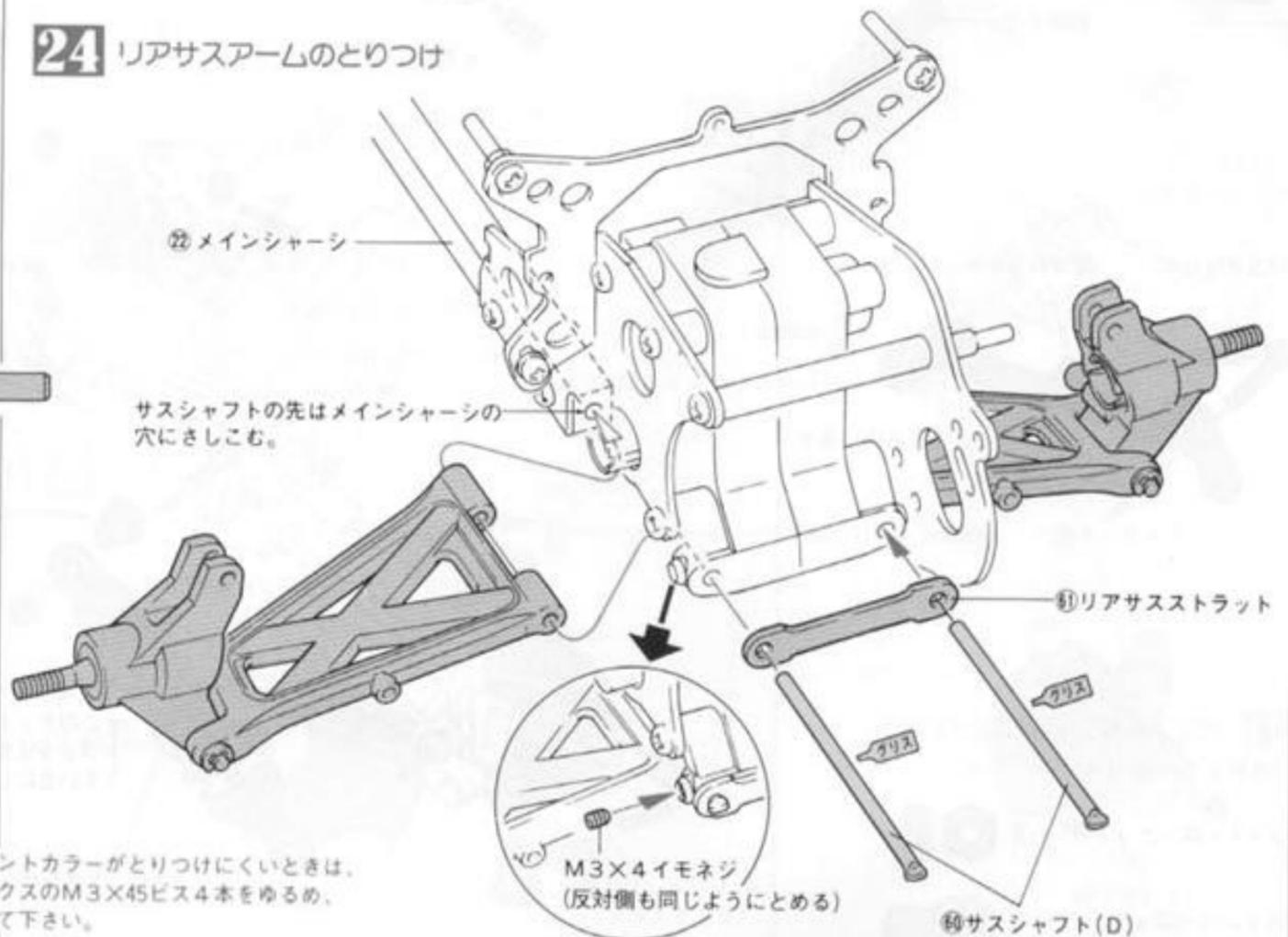
〈使用する小物パーツ〉

- M3×8ビス.....2
- M3×4イモネジ.....2
- 60サスシャフト(D).....2
(長い方)

〈ジョイントカラーのとりつけ〉



24 リアサスアームのとりつけ



25 リアアッパーロッドのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

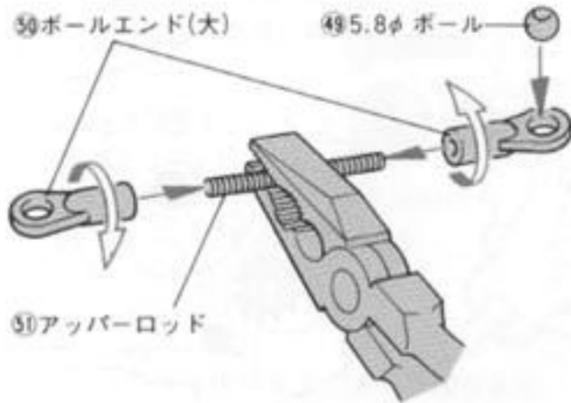
M3×10ビス……………2

④5.8φ ボール……………2

⑤ボールエンド(大)……………4

⑥アッパーロッド……………2

〈アッパーロッドを2本つくります〉



26 リアダンパーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3ナイロンナット……………2

⑤ダンパーブッシュ……………2
(黒いゴム)

27 センターギヤのとりつけ

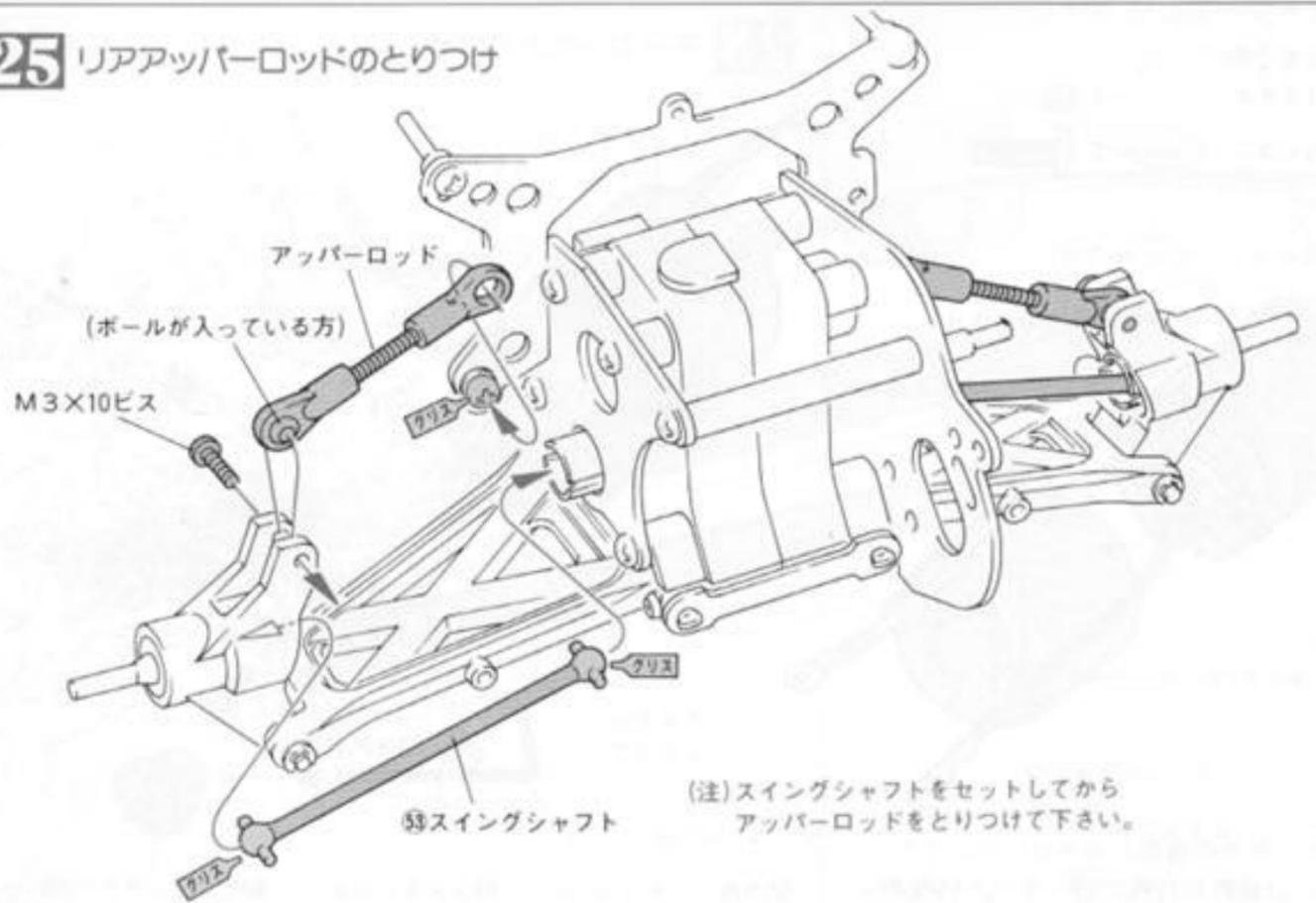
〈使用する小物パーツ〉

4φ ワッシャー……………2

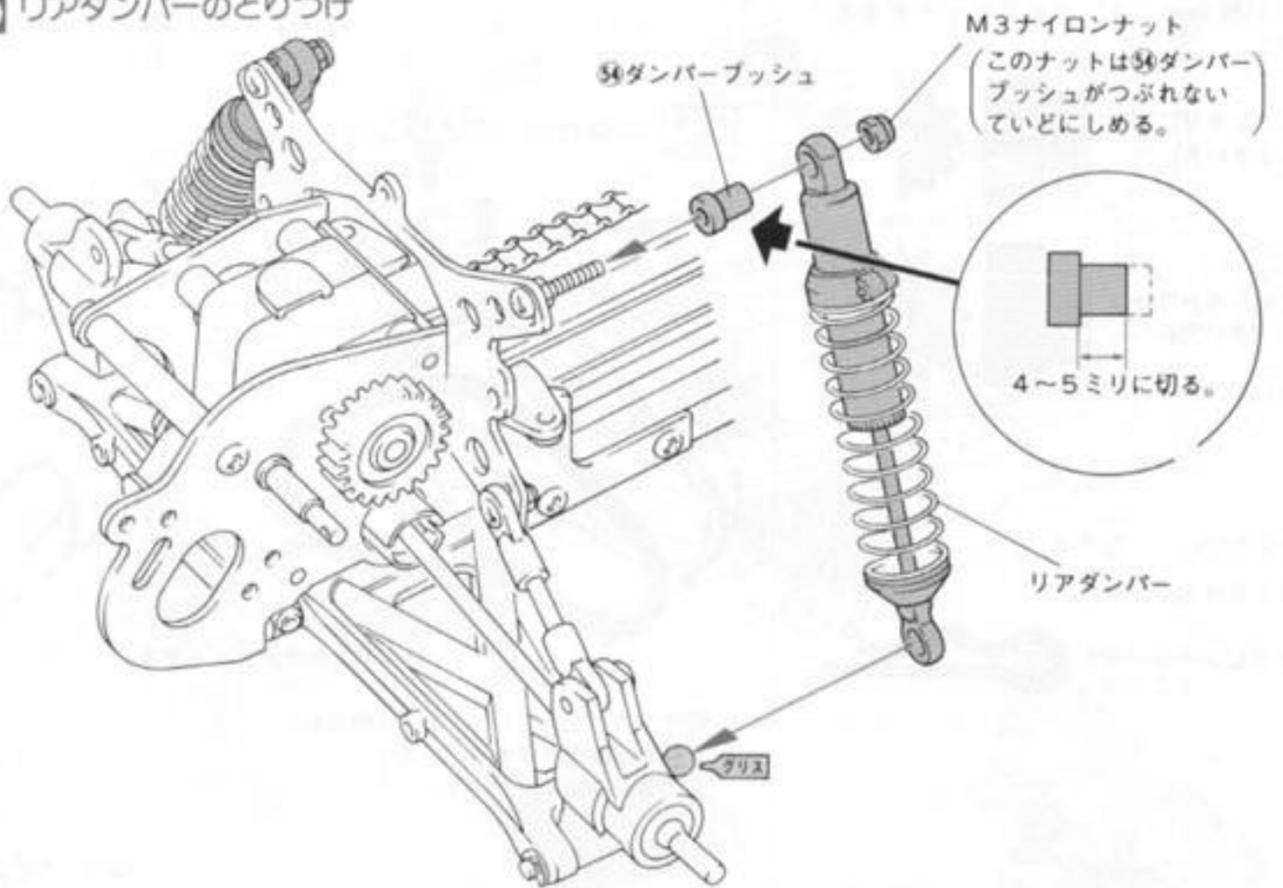
③センターギヤメタル……………1

③Oリング(P-3)……………1
(黒いゴム)

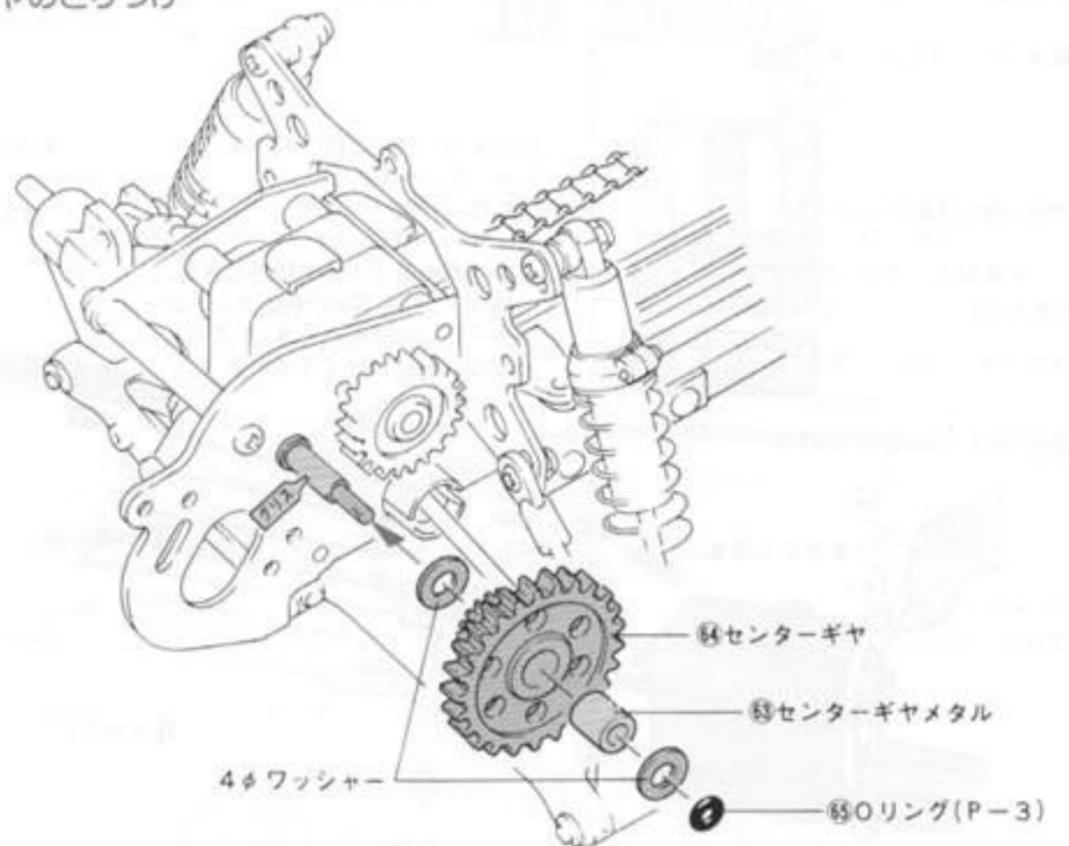
25 リアアッパーロッドのとりつけ



26 リアダンパーのとりつけ



27 センターギヤのとりつけ



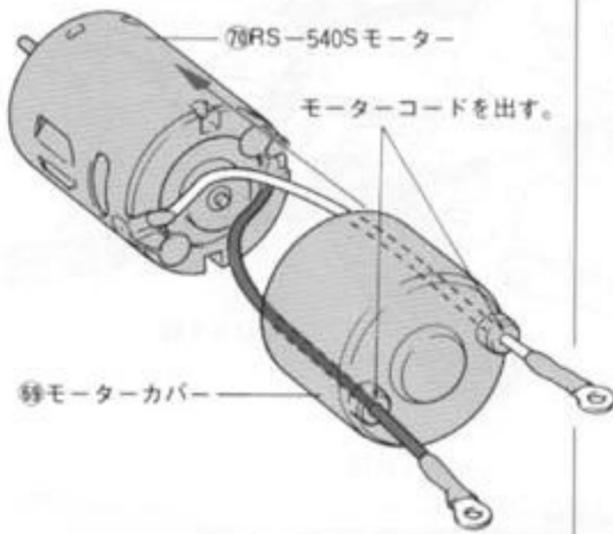
28 モーターのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

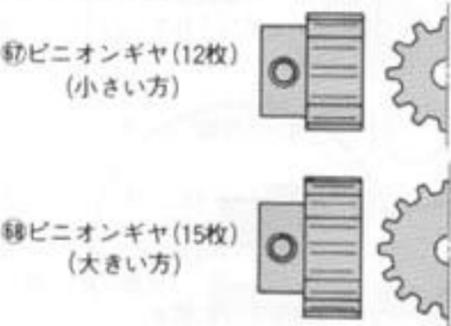
M3×3イモネジ……………1

M3×8ビス……………2

〈モーターカバーのとりつけ〉



〈ピニオンギヤの歯数とギヤ比について〉
 キットには歯数が12枚のローギヤと15枚のハイギヤの2つのピニオンギヤが入っています。操縦になれるまでは12枚、充分になれたら15枚のピニオンギヤをセットするとよいでしょう。



29 ギヤカバーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

③フックピン……………1



30 コントローラーサーボのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

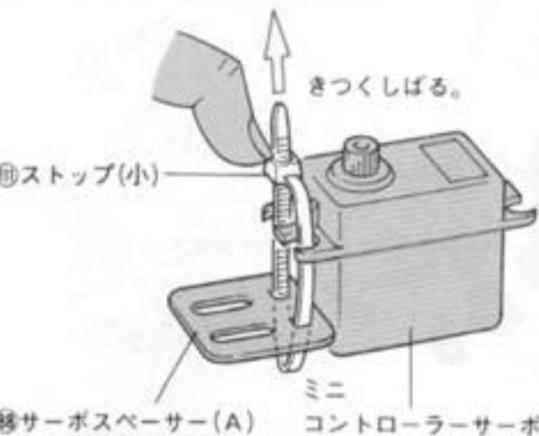
M3×6皿タッピングビス…6

④サーボスペーサー(A)……………1

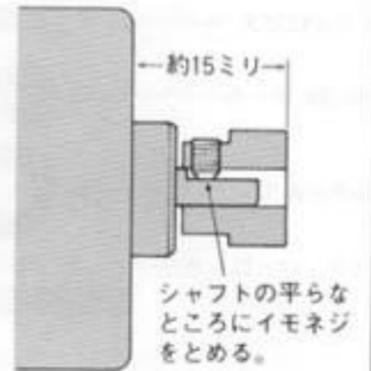
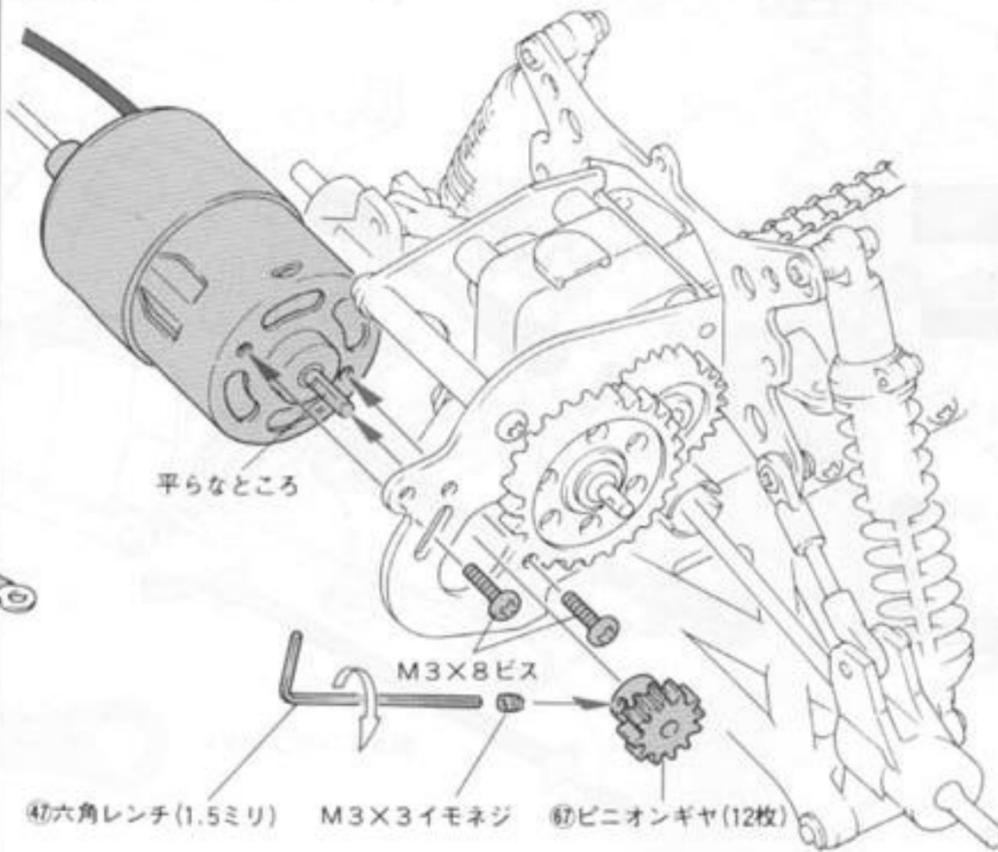
(注) 中型サーボ使用のときは使いません。

⑤サーボスペーサー(B)……………1

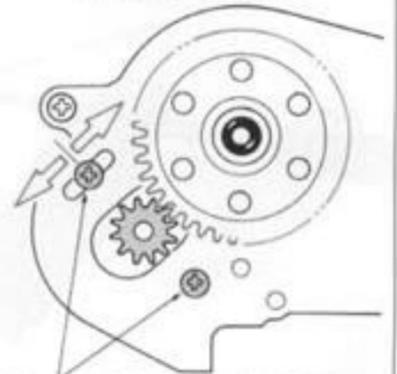
〈サーボスペーサーのとりつけ〉



28 モーターのとりつけ



〈バックラッシュの調整〉
(ギヤのかみ合い)



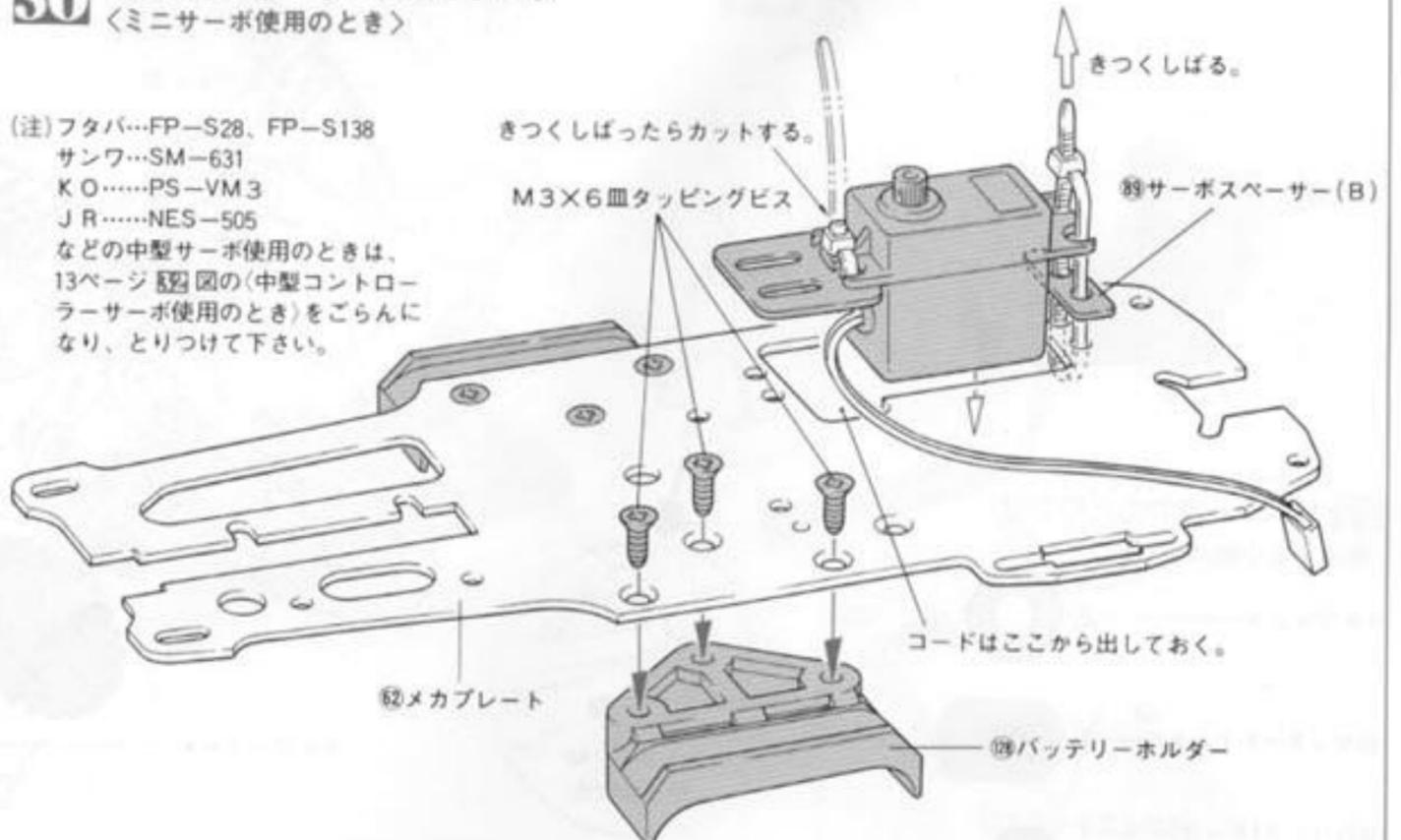
29 ギヤカバーのとりつけ



30 コントローラーサーボのとりつけ

〈ミニサーボ使用のとき〉

(注) フタバ…FP-S28, FP-S138
 サンワ…SM-631
 KO…PS-VM3
 JR…NES-505
 などの中型サーボ使用のときは、13ページ ⑩図の(中型コントローラーサーボ使用のとき)を参考に、とりつけて下さい。

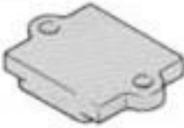


31 チェーンガイド(A)のとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2X8タッピングビス…2

⑧チェーンガイド(D)……1
(プラスチック)



32 メカプレートのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2X8タッピングビス…2

M2.6X8バインドタッピングビス……4

M3X6皿タッピングビス…1

M3X8タッピングビス…2

M3X10タッピングビス…2

⑩メカポストビス……2

〈中型コントローラサーボ使用のとき〉

フタバ…FP-S28、FP-S138

サンワ…SM631

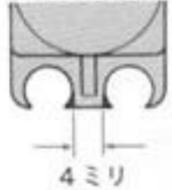
KO……PS-VM3

JR……NES-505

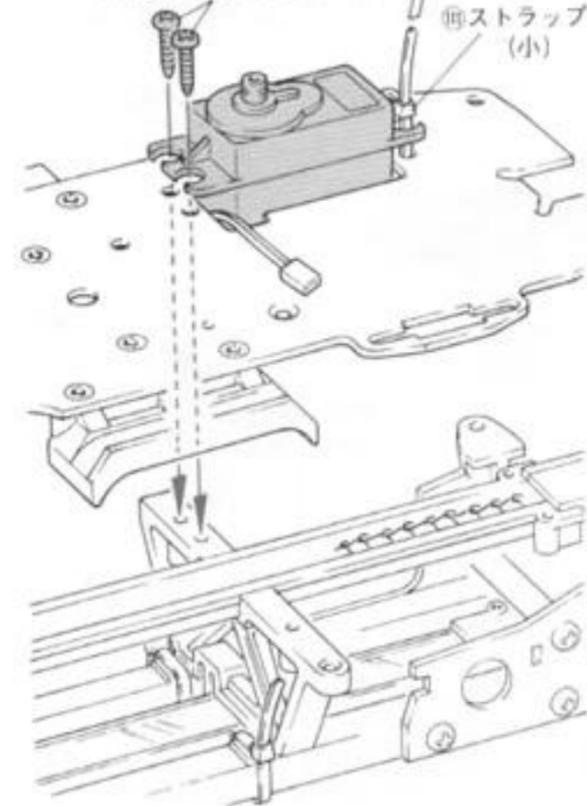
以上のサーボを使用するときは下図のように取りつけて下さい。

(1) サーボを下図のように加工して下さい。

※下図の■部をヤスリ等で必ず加工して下さい。



(2) 中型サーボのとりつけかた M3X10タッピングビス



33 コントローラーのくみだて

〈使用する小物パーツ〉

M2.6X6バインドビス……1

M3ナット(金色)……2

⑪ボールナット……1

⑫コントローラーナット…1

⑬コントローラー接点……2

⑭コントローラーピボット…1

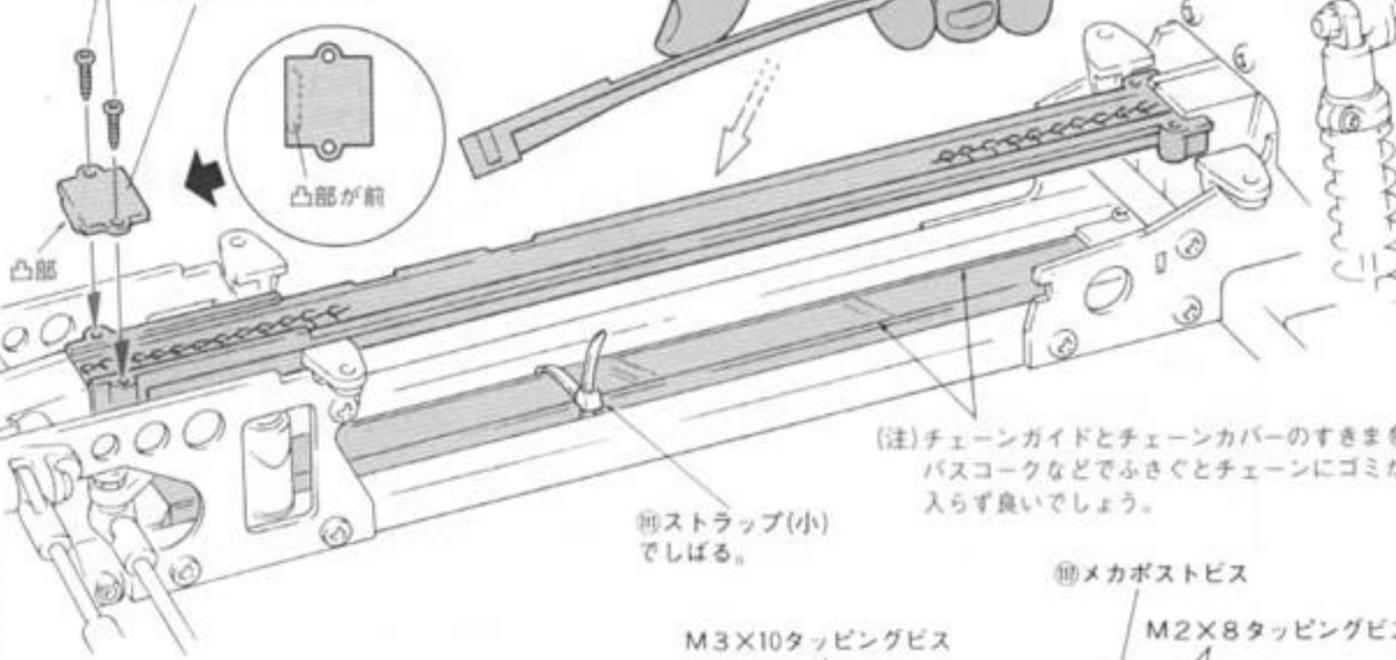


31 チェーンガイド(A)のとりつけ

チェーンガイド(A)は図のように曲げ、前から入れる。

M2X8タッピングビス

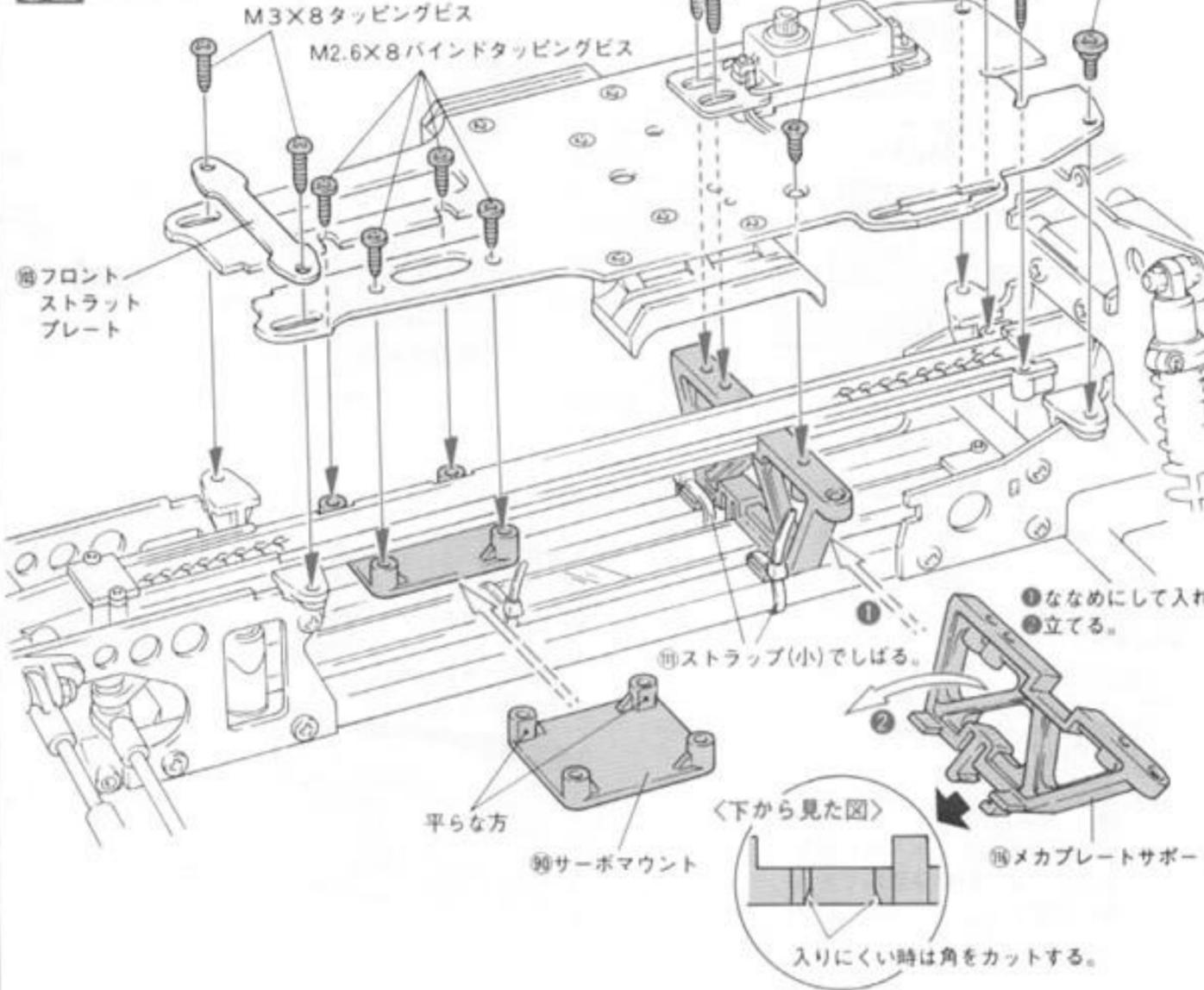
⑧チェーンガイド(D)



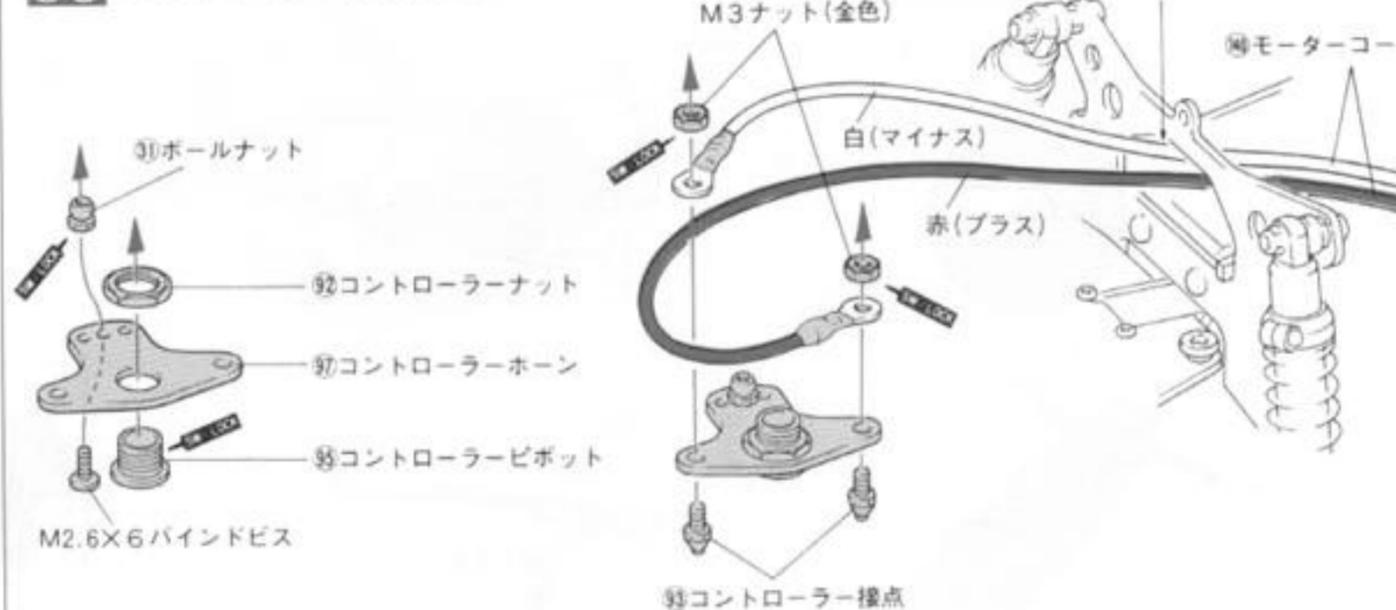
(注)チェーンガイドとチェーンカバーのすきまをバスコークなどでふさぐとチェーンにゴミが入らず良いでしょう。

⑩ストラップ(小)でしぼる。

32 メカプレートのとりつけ



33 コントローラーのくみだて



モーターコードはリアダンパステを通してとりつける。

34 受信機電源の配線

〈結線のしかた〉

右図のようにプロポスイッチを電池ボックスから切りはなし、レギュレーターと結線します。

①コードをねじって結線します。

②プラスとマイナスがショートしないようビニールテープで絶縁します。

※ハンダ付けをした方がより確実に結線できます。

〈注意〉
リード線のプラス、マイナスの色は各メーカーのプロポにより違います。



35 コントローラーPC板のとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2.6X6バインドビス……1

M3X10ビス(金色)……2

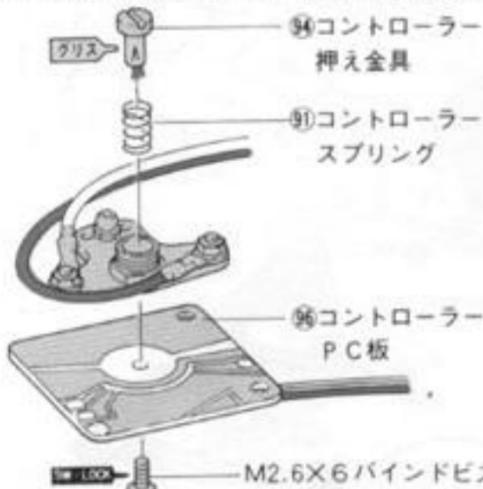
M3ナット(金色)……3

⑨1 コントローラーズプリング……1

⑨2 コントローラー押え全具……1

⑨3 ドライバーポスト……1

〈PC板にコントローラーをとりつける〉



※M2.6X6バインドビスは、から回りしないよう、ネジロック又は瞬間接着剤でしっかりとPC板に固定する。

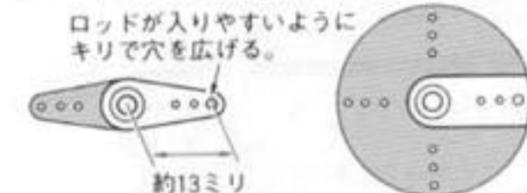
36 コントローラーのリンクージ

〈使用する小物パーツ〉

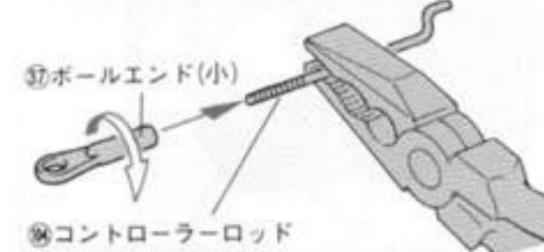
⑨4 ボールエンド(小)……1

⑨5 サーボロッド……1

〈サーボホーンのカット〉 プロポに入っている



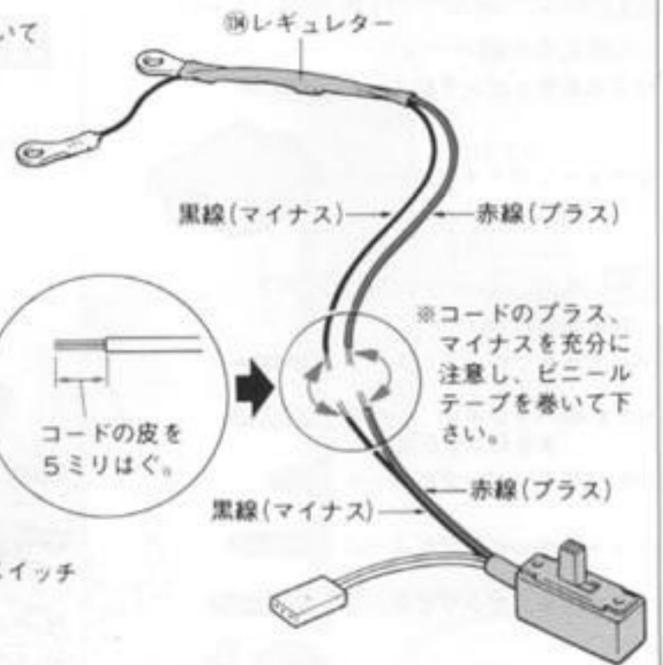
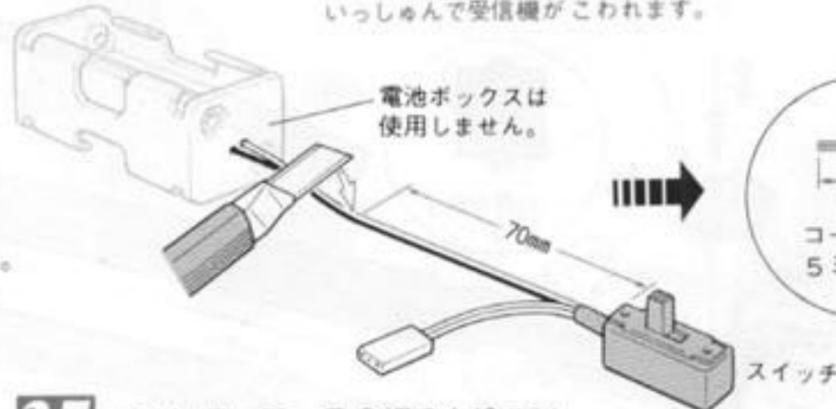
〈コントローラーロッドのくみため〉



34 受信機電源の配線

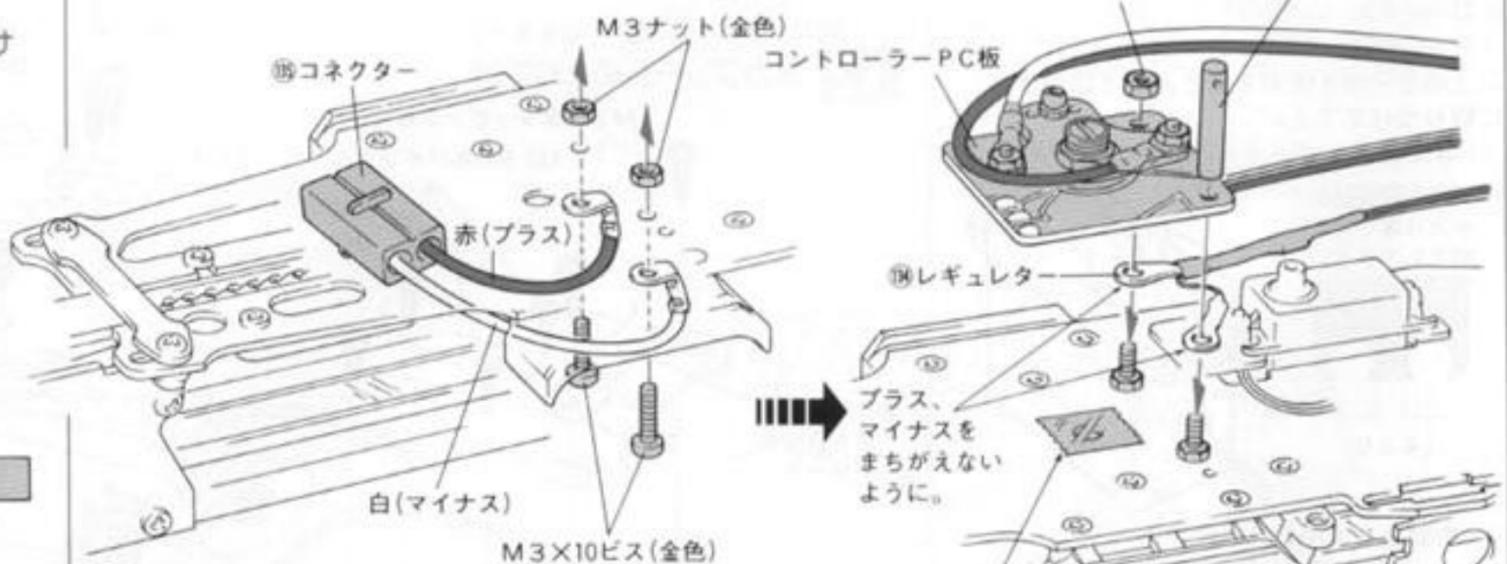
※スイッチハーネスはプロポについているものを使用します。

〈注意〉 本車はプロポの受信機電池も走行用電池(7.2Vバッテリー)からとる共用電源を使用しております。7.2Vをそのまま受信機に使用したりプラス、マイナスをまちがえると、いっしょんで受信機がこわれます。



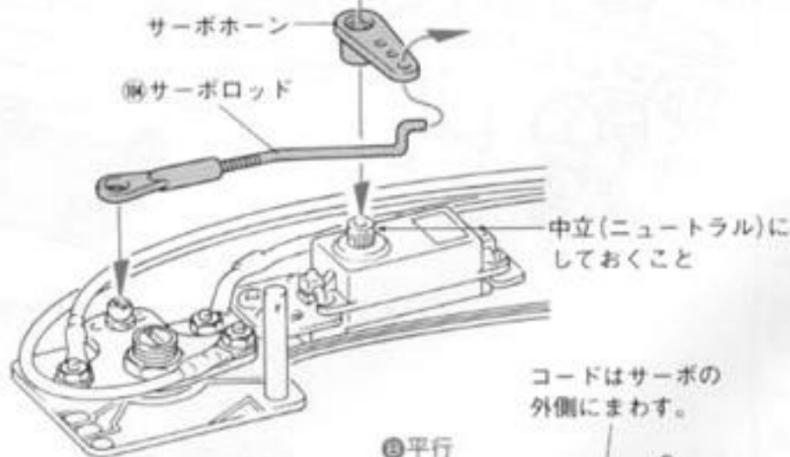
35 コントローラーPC板のとりつけ

〈コネクタの端子を曲げる〉

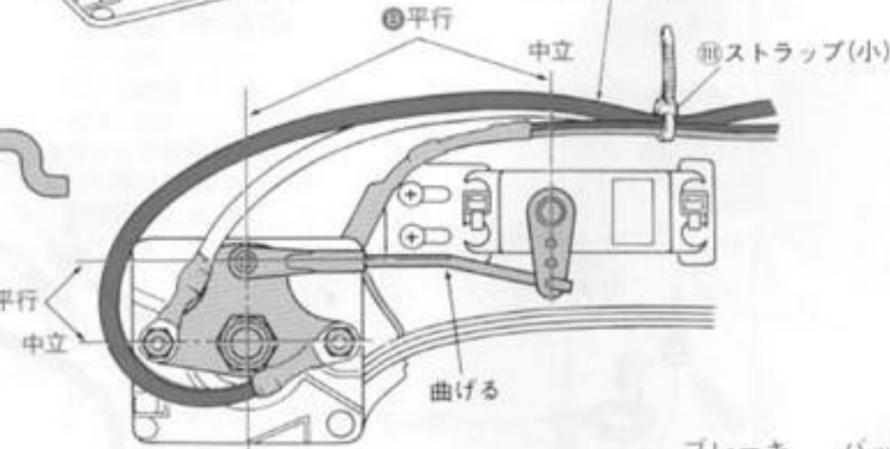
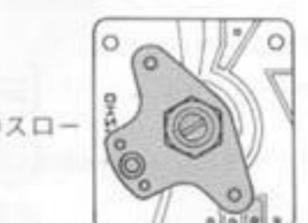
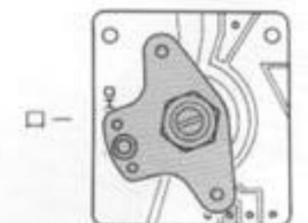
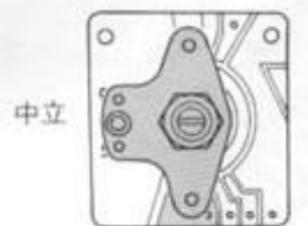


36 コントローラーのリンクージ

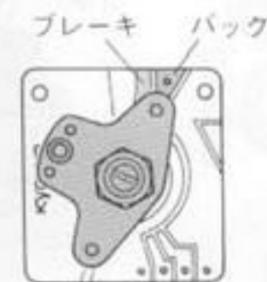
プロポに入っているビス



〈コントローラーホーンの動き〉



⑨の平行はボールエンドを回して調整する。



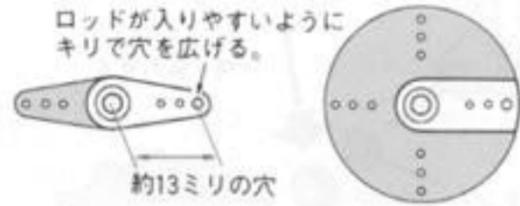
37 ステアリングのリンケージ

〈使用する小物パーツ〉

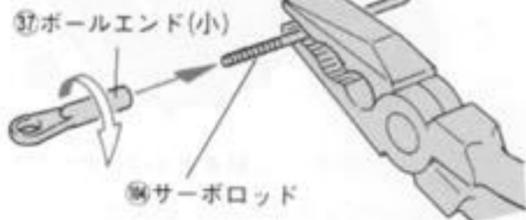
①ボールエンド(小)………1

②サーボロッド………1

〈サーボホーンのカット〉 プロポに入っている
のところをカットする。

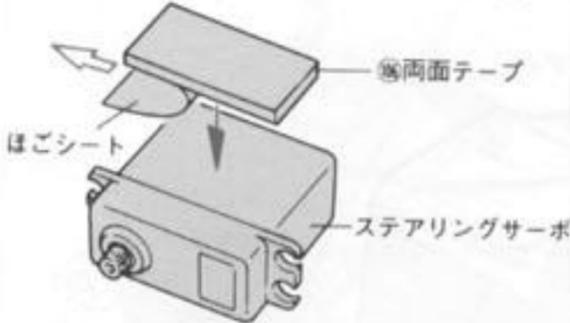


〈ステアリングロッドのくみだて〉



〈両面テープのはりつけ〉

両面テープをサーボの幅に合わせて切り、
ほごシートをはがしサーボにはって下さい。



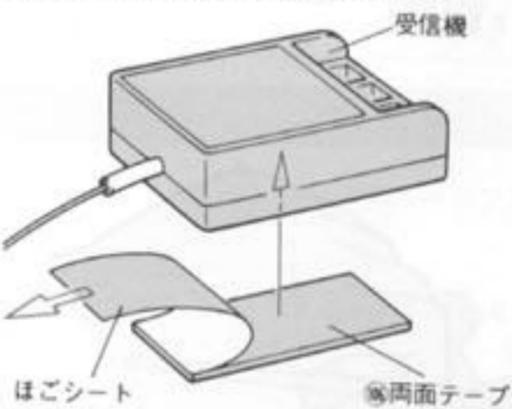
38 受信機、抵抗、アンテナのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M2.6ワッシャー(黒色)………2

④抵抗プロテクター………1

〈両面テープのはりつけ〉
両面テープを受信機の幅に合わせて切り、
ほごシートをはがしてはって下さい。



39 フロントバンパーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M3×12タッピングビス………2

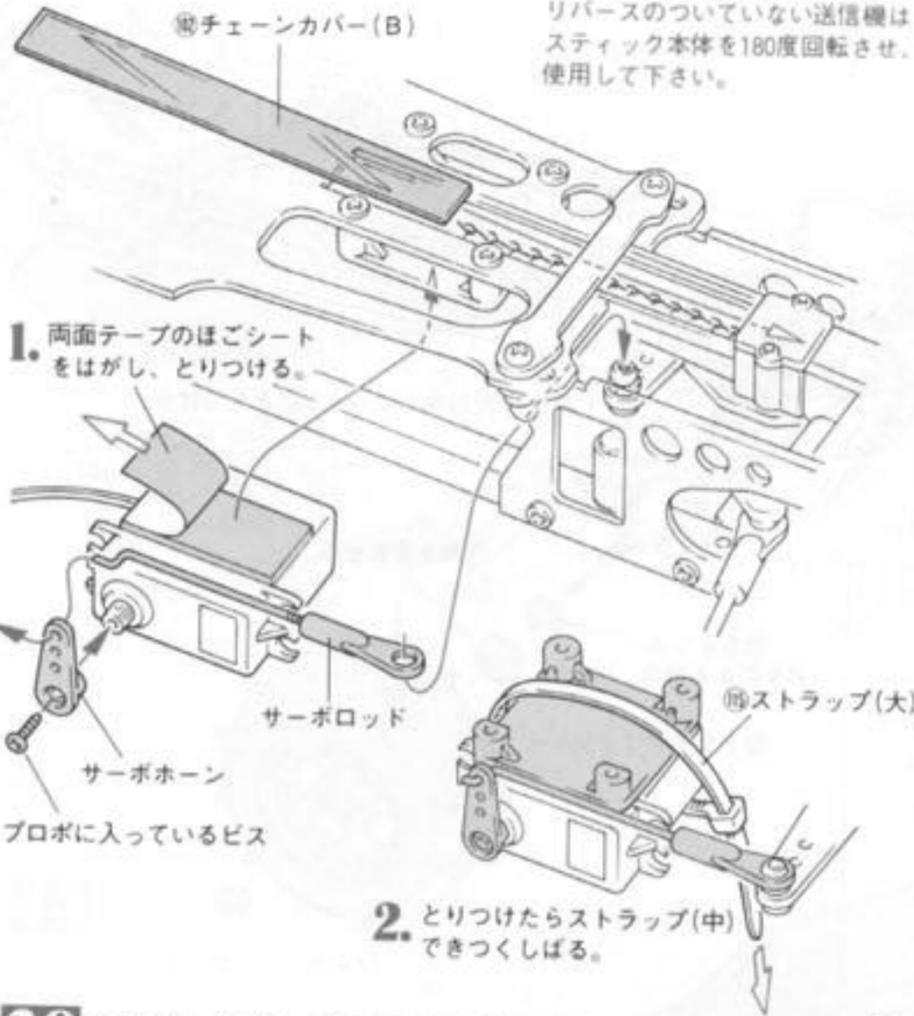
M4×8バインドビス………1

M4フランジナット………1

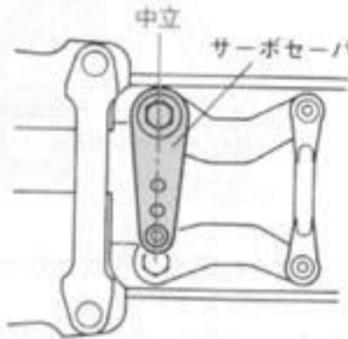
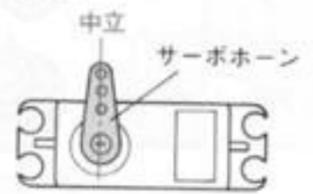


37 ステアリングのリンケージ

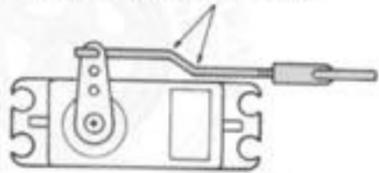
(注) ステアリングサーボの回転方向は、
リバースの状態で使用して下さい。
リバースのついていない送信機は、
スティック本体を180度回転させ、
使用して下さい。



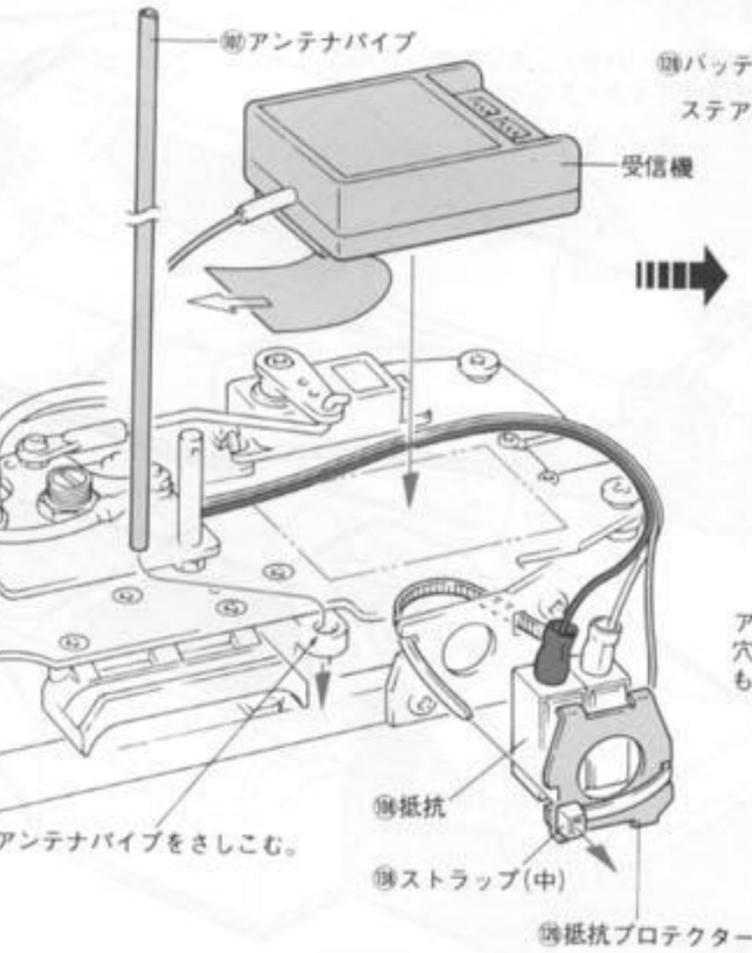
●ステアリングロッドをとりつける時は
サーボホーンとサーボセーバーを中立
にしておく。



●ステアリングロッドがメカデッキに
あたる時は図のように曲げる。

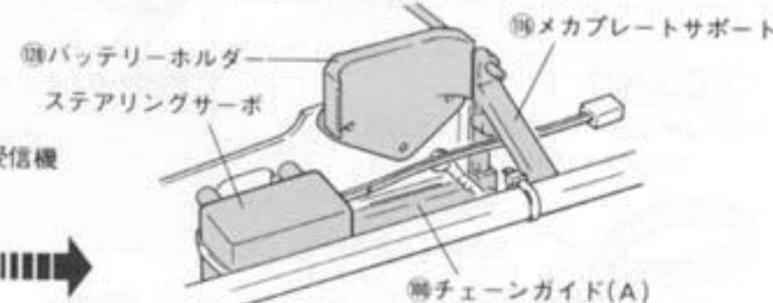


38 受信機、抵抗、アンテナのとりつけ

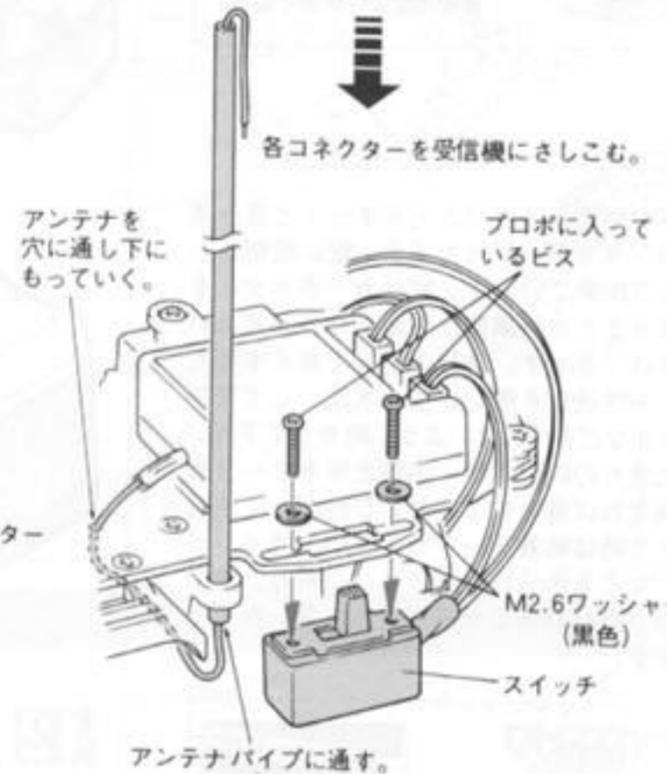


〈下から見た図〉

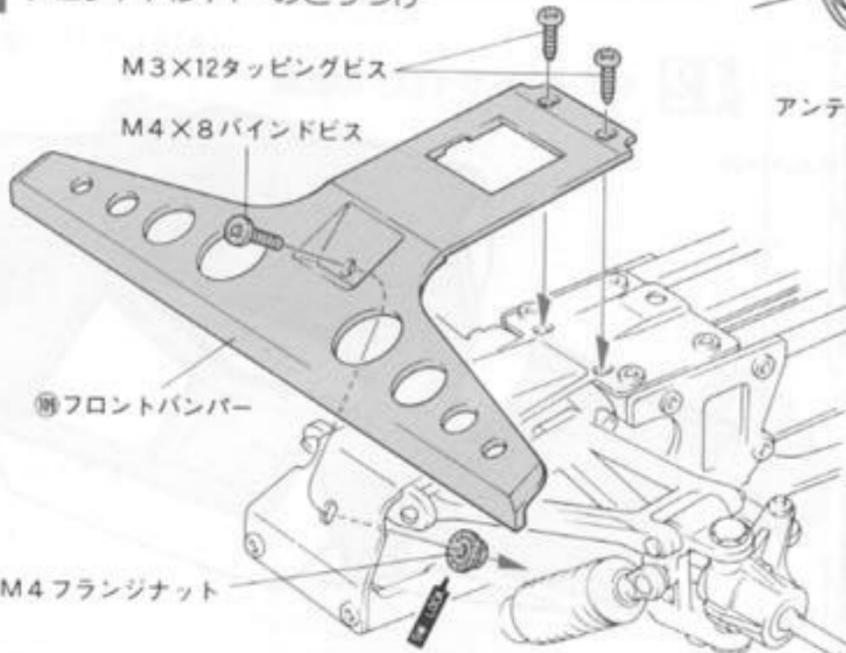
ステアリングサーボのコネクターコードは
図のように配線する。



チェーンガイド(A)とバッテリーホルダーの間に
入れ、メカプレートサポートの穴を通す。



39 フロントバンパーのとりつけ



40 タイヤのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

M4ナイロンナット………4



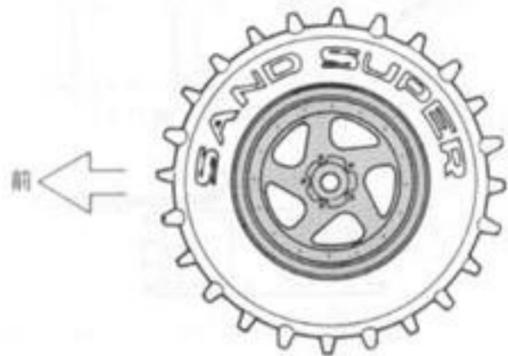
④ドライブワッシャー………4



⑤5φシム………4



ホイルの向きは図のようにとりつけて下さい。



40 タイヤのとりつけ

反対側も同じようにとりつける。

向きに注意
穴の大きい方が内側



六角を合わせる。

⑤5φシム
(ガタのある場合、入れる)

④ドライブワッシャー

M4ナイロンナット

六角を合わせる。

⑤5φシム
(ガタのある場合、入れる)

④ドライブワッシャー

M4ナイロンナット

41 ボディとドライバーのカット

41 ボディとドライバーのカット

カッターナイフ、ハサミ、キリを使って
のところをカットして下さい。

ボディとりつけ穴

④ボディ

④ドライバー

アンテナを通す穴

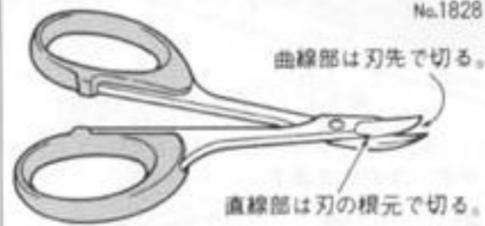
ドライバーとりつけ穴

コードを通す穴

KYOSHO

京商ではポリカーボボディ工作用の専用ハサミ
'ラウンドカッター'を発売しております。

No.1828



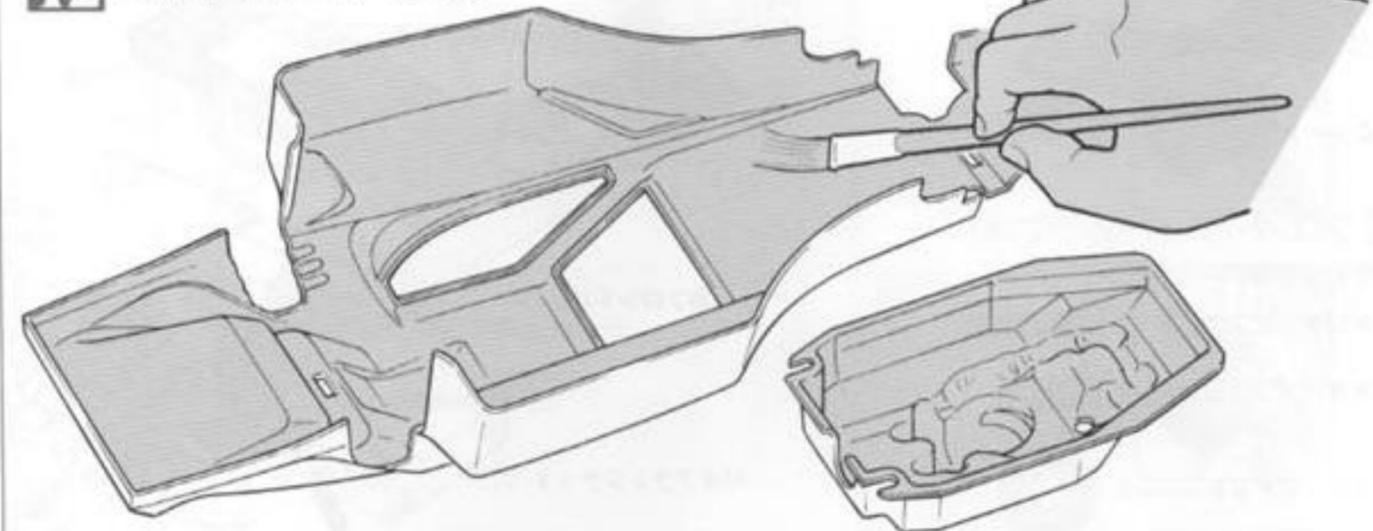
曲線部は刃先で切る。

直線部は刃の根元で切る。

42 ボディとドライバーの塗装

本車のボディはポリカーボネートと言う透明のプラスチック板をボディ型に成型したもので出来ています。ポリカーボボディを塗装するときは裏側から塗った方がきれいに塗装できます。塗料の付きを良くするために中性洗剤を使い、よく水洗いして手アカや油などをつけないように乾かして下さい。一色塗りの時はボディ内側全体を2~3回塗装すれば良いのですが、2色以上に色分けする時は粘着テープやマイクロラインテープなどを色分けするラインに貼り、濃い色から塗り最後にボディ全体に薄い色を塗ります。

42 ボディとドライバーの塗装



KYOSHO



京商マイクロラインテープはマスキングテープとして又、デザインテープとしても使えます。色は6色、太さも3種類あります。 No.1841~3

KYOSHO



京商ポリカカラーはポリカーボボディ専用のアクリル塗料で大変あつかいやすく、色も12色そろっております。 No.2230

43 ドライバーのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

⑥フックピン……………1



44 ボディのとりつけ

〈使用する小物パーツ〉

⑥フックピン……………2



⑩ボディワッシャー…2
(とうめいの
ブラワッシャー)



〈ニカドバッテリーのとりつけ〉

ニカドストラップでニカドバッテリーと
バッテリーホルダーをしぼる。



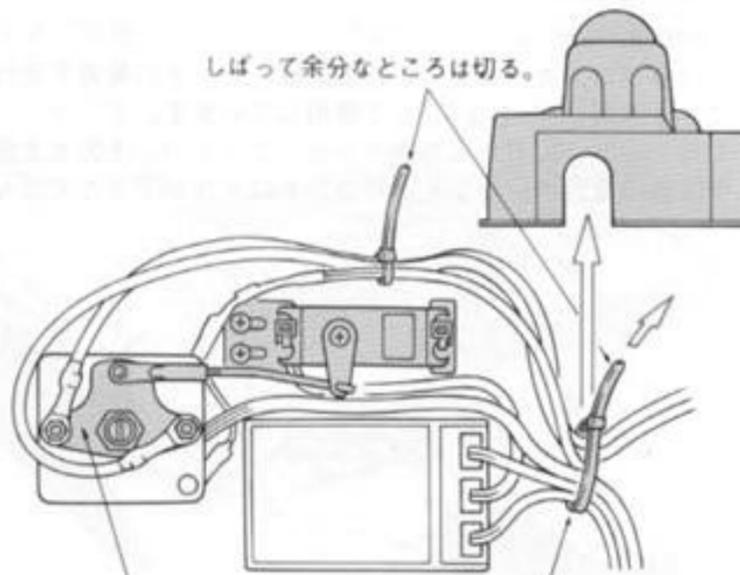
43 ドライバーのとりつけ

⑥フックピン

⑩ドライバー



しばって余分なところは切る。



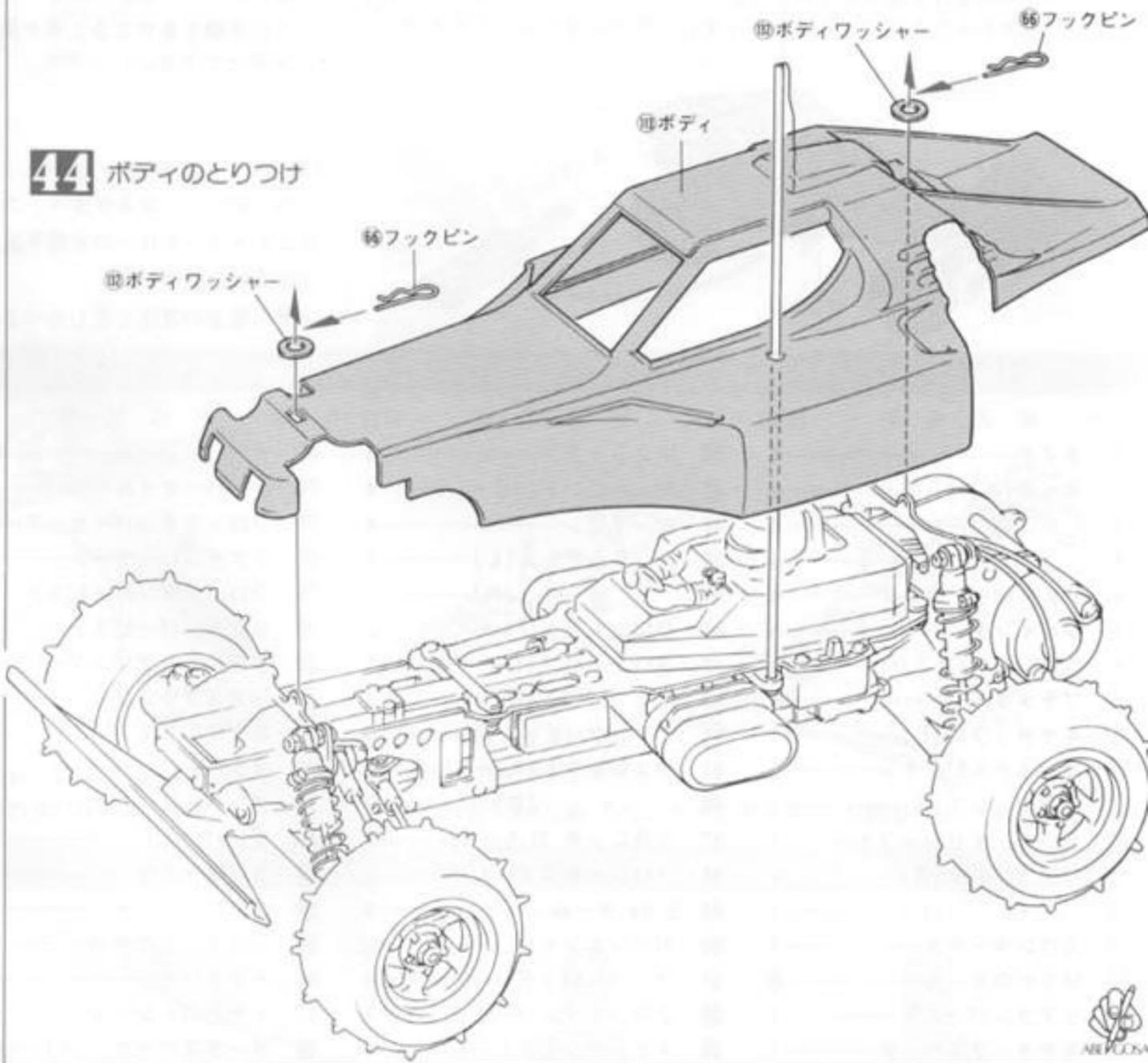
※コントローラーは回転するので
モーターコードは図のようにた
るませてドライバーをとりつけ
ること。

各コードをストラップ(小)で
しばり、ドライバーの後の穴
から出す。

44 ボディのとりつけ

⑩ボディワッシャー

⑥フックピン



KYOSHO



ニカドバッテリーは電動レーシングカーの性能
を十分に発揮できる高性能バッテリーをお選び
下さい。
京商では特にレーシングカー用にセレクトされ
た高性能のレーシングバッテリー7.2Vを用意
しております。 No.2218

フロントデフ&リアデフ分解図

〈フロントデフ〉

⑩スプロケット(A)

⑩ベベルギヤ(B)

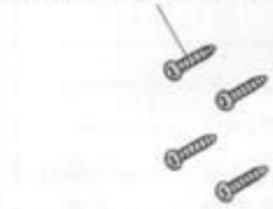
⑩ベベルシャフト

⑩ベベルギヤ(B)

⑩ベベルギヤ(A)

⑩スプロケット(B)

M2×8タッピングビス



〈リアデフ〉

⑩メインギヤ

⑩ベベルギヤ(B)

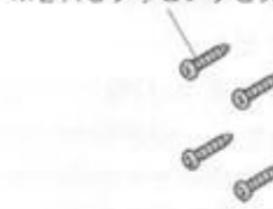
⑩ベベルシャフト

⑩ベベルギヤ(B)

⑩ベベルギヤ(A)

⑩スプロケット(C)

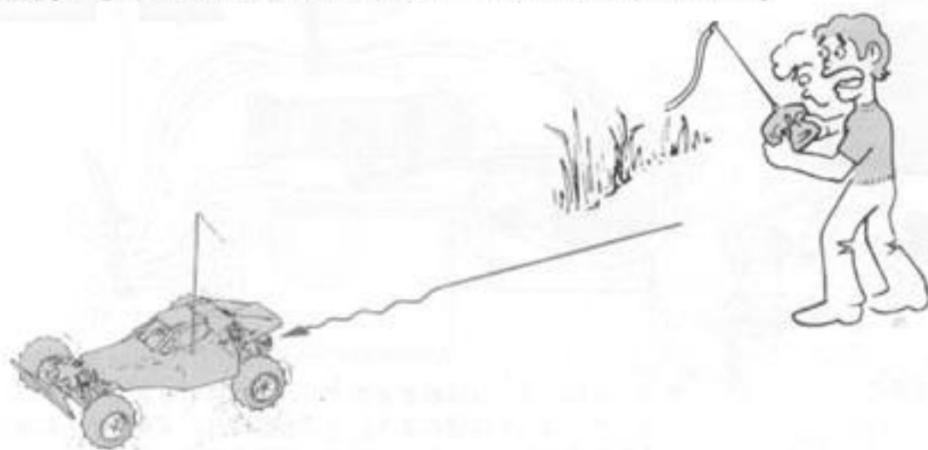
M2×8タッピングビス



必ず守ること

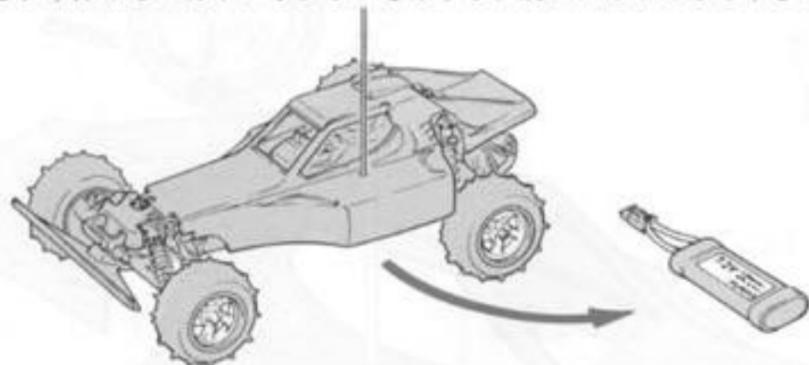
〈走行中の注意〉

このラジコンカーはプロポの受信機、サーボの電源を走行用のニカドバッテリーと共用(いっしょに)して使用しています。走行中にスピードがおちてきたなノ…とかんじたら走行を中止して下さい。そのまま走行をつづけますと、受信機に電気がいなくなりコントロールができなくなります。



〈走行後の注意〉

ラジコンカーの走行を楽しんだあとは必ずニカドバッテリーのコネクターをはずし、車体からニカドバッテリーをはずし、別々にほかんして下さい。



〈走行前のチェック〉

★初走行の時はニカドバッテリー1~3バックぐらいはゆっくりと走らせて下さい。

- ①各部のネジ、ナットなどのゆるみがないかチェック。
- ②ニカドバッテリーの充電は完全か。
- ③ステアリング(フロントタイヤ)、コントローラーがプロポ通り動くか。
- ④各配線コードがしっかりとされているか。
- ⑤各回転部はスムーズに動くか。

〈走行のときの順番〉

- ①送信機のスイッチを入れる。(ON)
- ②受信機のスイッチを入れる。(ON)
- ③プロポの動きをチェック。

★プロポのスイッチを切るとき(OFF)は受信機側を先に切り(OFF)、後で送信機のスイッチを切ること(OFF)。

この手順をあやまると車が勝手に走ったり、ぼう走することがあるので必ず守って下さい。

〈動かないときのチェック〉

- ①バッテリー、コネクター、コントローラーなどの接触不良。
- ②ニカドバッテリーの充電不足。
- ③送信機の電池不足。
- ④他の電波の混信などしらべる。

パーツリスト

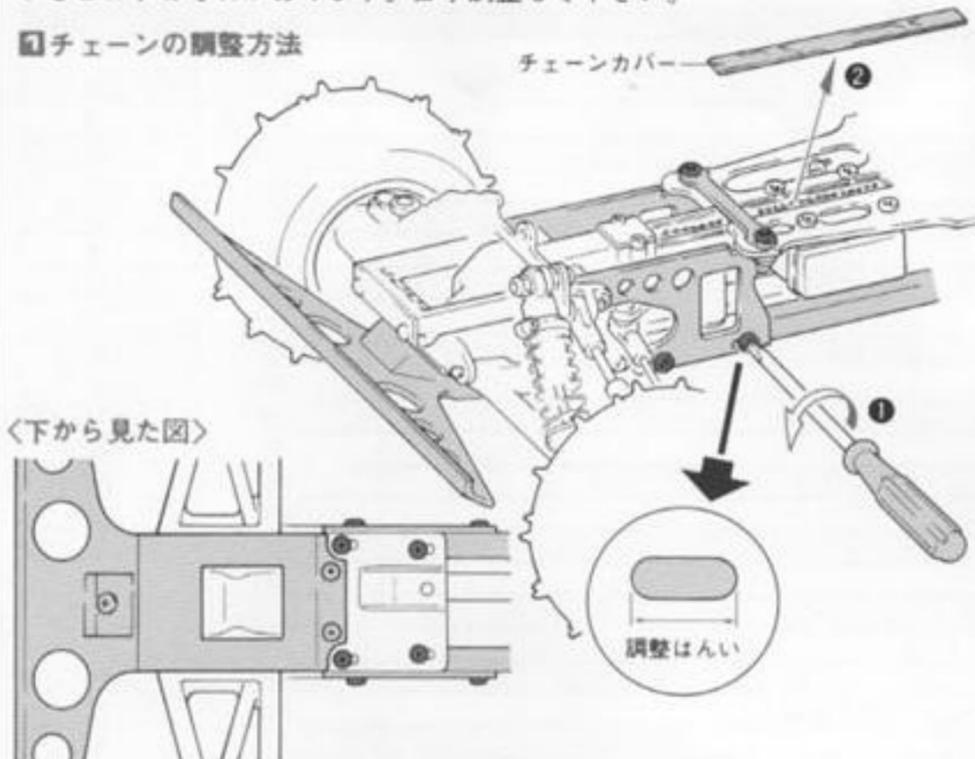
キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量	キーNo.	部品名称	数量
①	タイヤ	4	36	M2シャフト	1	71	ダンパーシール	4	96	両面テープ	1
②	ホイール(1)	4	37	ボールエンド(小)	4	72	ダンパーオイル	1	97	アンテナパイプ	1
③	◇(2)	4	38	キングピン	4	73	フロントダンパーケース	2	98	抵抗	2
④	◇(3)	4	39	ナックルアーム(L)	1	74	リアダンパーケース	2	99	フロントバンパー	1
⑤	8φX14ベアリング	4	40	◇(R)	1	75	フロントダンパーピストン	2	100	ドライブワッシャー	4
⑥	ジョイント	4	41	フロントシャフト	2	76	リアダンパーピストン	2	101	ストラップ(小)	6
⑦	六角レンチ(2ミリ)	1	42	フロントハブ(L)	1	77	フロントスプリング	2	102	ニカドストラップ	2
⑧	プラメタル	8	43	◇(R)	1	78	リアスプリング	2	103	ボディ	1
⑨	ギヤボックス(L)	1	44	Eリング(E-2.5)	4	79	スプリングストッパー	4	104	ドライバー	1
⑩	ファイナルピニオン	1	45	サスシャフト(A)	2	80	ダンパーワッシャー	4	105	ストラップ(大)	1
⑪	ギヤボックス(R)	1	46	◇(B)	2	81	ダンパーOリング	4	106	メカプレートサポート	1
⑫	センターギヤシャフト	1	47	六角レンチ(1.5ミリ)	1	82	ダンパーストッパー	4	107	メカポストビス	2
⑬	リアプレート(R)	1	48	フロントサスアーム	2	83	スプリング受	4	108	M2.6ピロボール	4
⑭	◇(L)	1	49	5.8φボール	4	84	ダンパーエンド	4	109	5φX10メタル(金属)	2
⑮	カウンターギヤ	1	50	ボールエンド(大)	12	85	ジョイントカラー	2	110	抵抗プロテクター	1
⑯	M3ピロボール	8	51	アッパーロッド	4	86	ギヤカバー	1	111	メインギヤ	1
⑰	リアダンパーステー	1	52	フロントダンパーステー	1	87	ギヤカバーシール	1	112	スプロケット(A)	1
⑱	ギヤボックスハッチ	1	53	スイングシャフト	4	88	サーボスペーサー(A)	1	113	◇(B)	1
⑲	フロントサスプレート	1	54	ダンパーブッシュ	4	89	◇(B)	1	114	◇(C)	1
⑳	アンダーガード	1	55	タイロッド	2	90	サーボマウント	1	115	ベベルギヤ(A)	4
㉑	フロントサポート	1	56	リアシャフト	2	91	コントローラーズスプリング	1	116	◇(B)	4
㉒	メインシャーシ	2	57	リアハブ(R)	1	92	コントローラーナット	1	117	ベベルシャフト	2
㉓	フロントサイドプレート	2	58	サスシャフト(C)	2	93	コントローラー接点	2	118	バッテリーホルダー	2
㉔	フロントアッパーピボット(L)	1	59	リアサスアーム	2	94	コントローラー押え金具	1	119	バルクヘッド(L)	1
㉕	◇(R)	1	60	サスシャフト(D)	2	95	コントローラーピボット	1	120	◇(R)	1
㉖	リアメカポスト	2	61	リアサスストラット	1	96	コントローラーPC板	1	121	5φシム	4
㉗	フロントメカポスト	2	62	メカプレート	1	97	コントローラーホーン	1	122	ボディワッシャー	2
㉘	チェーンガイド(B)	1	63	センターギヤメタル	1	98	ドライバーポスト	1	123	デカール	1
㉙	◇(C)	1	64	センターギヤ	1	99	チェーンカバー(A)	1	124	レギュレーター	1
㉚	チェーン	1	65	Oリング	1	100	チェーンガイド(A)	1	125	コネクター	1
㉛	ボールナット	4	66	フックピン	4	101	◇(D)	1	126	グリス	1
㉜	セーバーシャフト(A)	1	67	ピニオンギヤ(12枚)	1	102	チェーンカバー(B)	1	127	ダンパーレンチ	1
㉝	◇(B)	1	68	◇(15枚)	1	103	フロントストラットプレート	1	128	ストラップ(中)	1
㉞	サーボセーバー(A)	1組	69	モーターカバー	1	104	サーボロッド	2	129	リアハブ(L)	1
㉟	◇(B)	1	70	RS-540Sモーター	1	105	セーバースペーサー	1	130	モーターコード	1

チェーンの調整

ニカドバッテリー5～6バック走行ごとにチェーンの張り具合の調整を必ずして下さい。

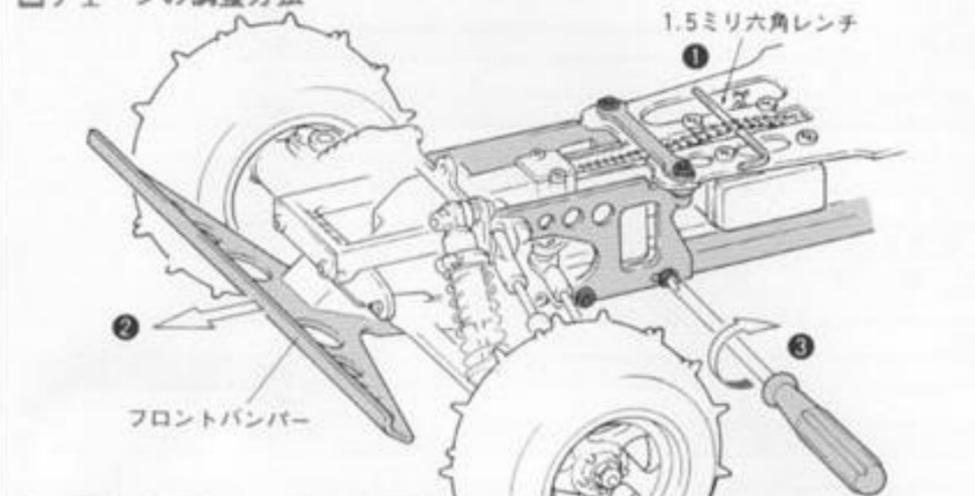
チェーンをたるんだまま走行させるとスプロケットにまきつき、スプロケットをこわすおそれがあります。必ず調整して下さい。

④チェーンの調整方法



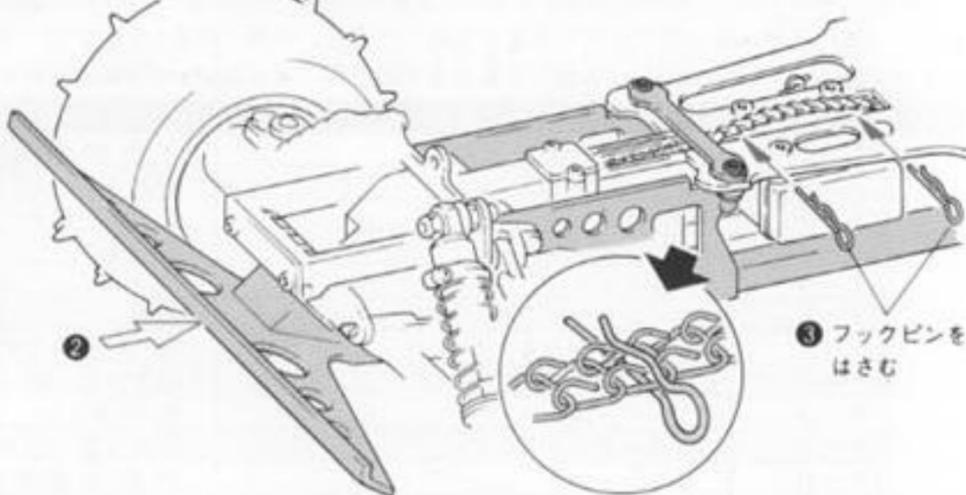
- ①まず赤くぬられたビス(10本)を半回転ぐらいゆるめて下さい。
- ②チェーンカバーをはずして下さい。

⑤チェーンの調整方法

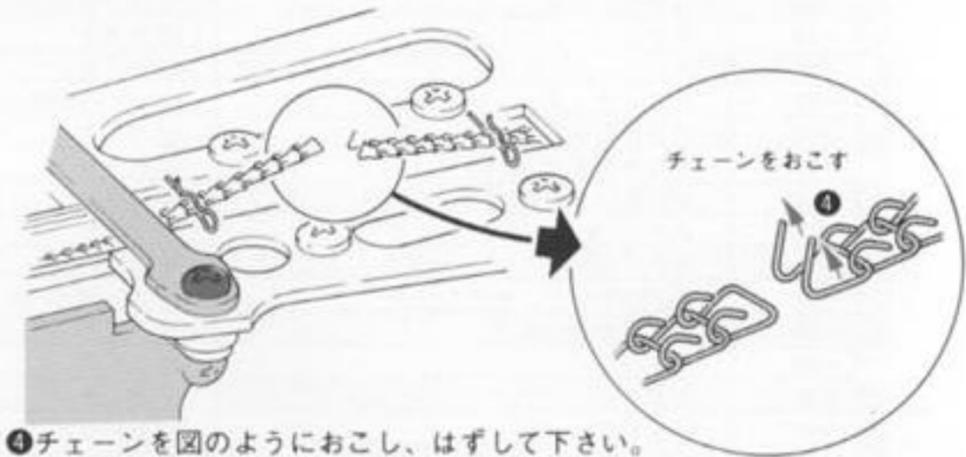


- ①1.5ミリの六角レンチを図のようにチェーンの下に入れて下さい。
 - ②1.5ミリのレンチを入れたままフロントバンパーを⇒印の方向にひっぱって下さい。
 - ③フロントバンパーをひっぱりながら赤くぬられたビス(10本)をしめて下さい。
- ★この状態がチェーンの抵抗も少なく効率の良い張り具合です。

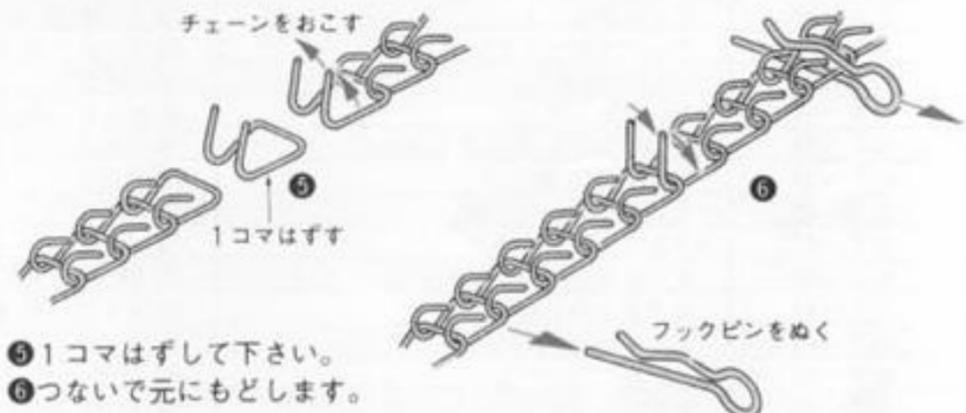
●チェーンがのびすぎて調整はんいをこえ、調整できなくなったときは…



- ①左図の赤くぬられたビス(10本)をゆるめ…
- ②つぎにフロントバンパーを⇒印の方向に強くおし、チェーンをたるませる
- ③チェーンにフックピンをはさんでおきます。チェーンをはずしたとき、ギヤボックスの方にチェーンが入っていかないようにするためです。



- ④チェーンを図のようにおこし、はずして下さい。

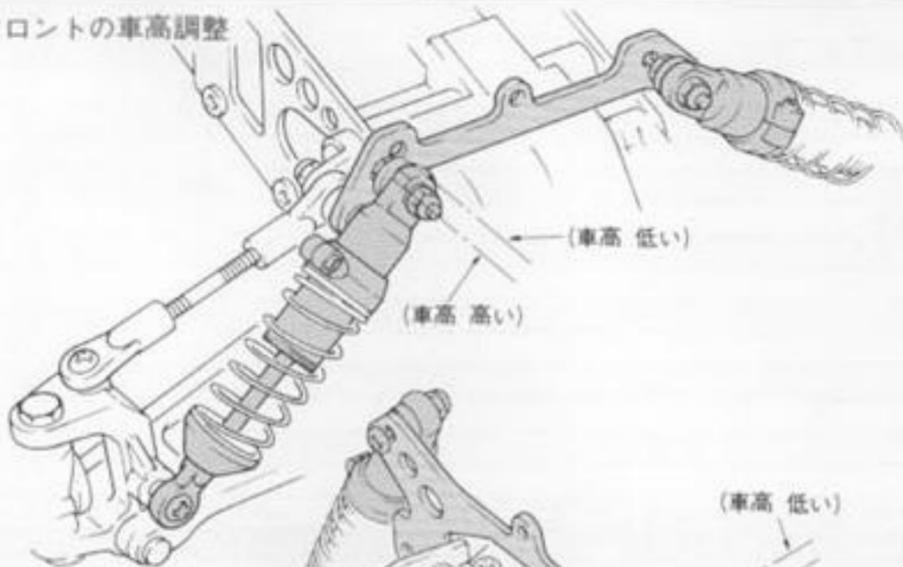


- ⑤1コマはずして下さい。
- ⑥つないで元にもどします。

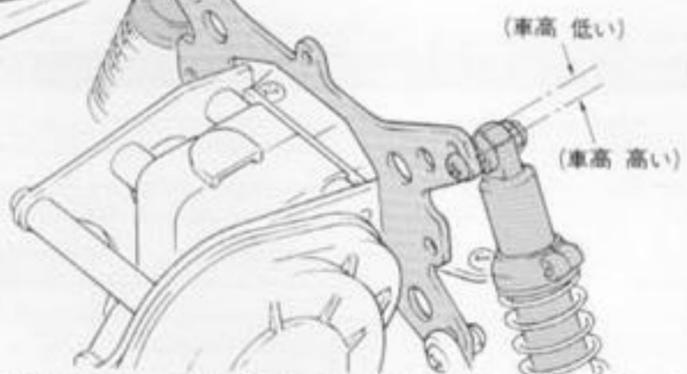
★チェーンを1コマつめ、つないだら左図のチェーン調整方法で調整して下さい。

車高の調整

(1) フロントの車高調整

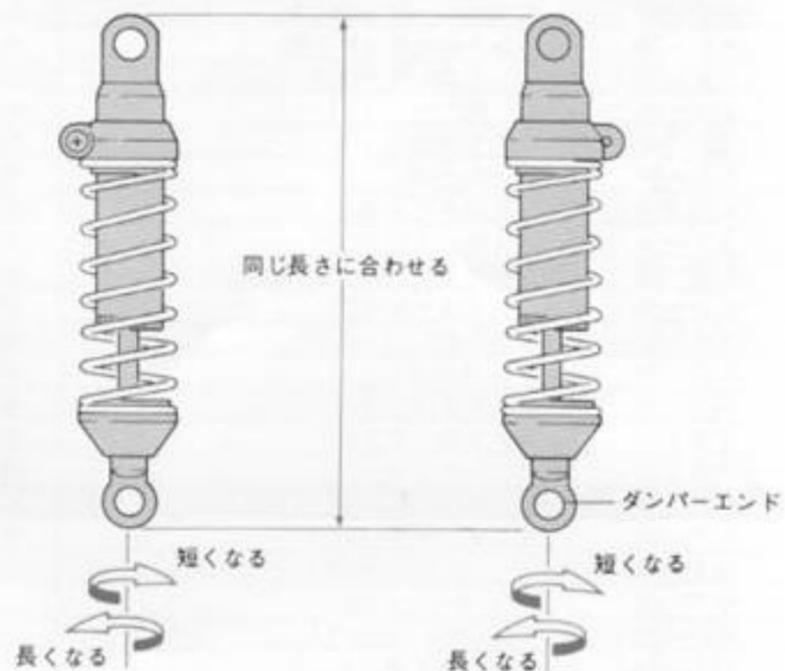


(2) リアの車高調整



※上図のように走行場所に合わせ、車高調整ができます。主にグリップの良い芝生などは車高を低く、グリップの悪い所では車高を高くセットして下さい。

ダンパーの寸法調整



※フロントダンパーどうし、又リアダンパーどうしの長さはダンパーエンドのネジ部をまわし、左右同じ長さに調整して下さい。左右の長さがちがっていると右・左のコーナーリングの大きさがちがったり、直進性も悪くなります。

部品を紛失、破損された時

下記の品番、部品名、内容を確認し、キットをお求めいただいた模型店で品番を言ってお求め下さい。近くに模型店がなく部品が入手できないときは「京商サービス部」へ部品代に送料を加え(郵便普通為替または現金書留)品番を明記の上、直接お申し込み下さい。※2品以上お求めの場合の送料は、品番の中で一番高い送料のみお送りください。他の送料はサービスとなります。なお、〒番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号を明記して下さい。又、お申し込みになられたパーツはご送金いただいてからお届けできるまで10日以上かかる場合もありますので御了承下さい。 ●表示の送料は昭和60年9月10日現在のもので法規改正にともない変更になる場合がありますので御了承下さい。

品番	部品名	内容(キ-No.入数)	定価	送料
OT-1	ギヤボックス	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ 各1ケ	600	170
OT-2	チェーン	⑬×1ケ	600	120
OT-3	オイルセット	⑭ ⑮ ⑯ 各4ケ	600	240
OT-4	キングピン	⑰×4ケ	250	70
OT-5	ジョイント	⑱×2	300	120
OT-6	スイングシャフト	⑲×2	550	70
OT-7	リアプレートセット	⑳ ㉑ ㉒ 各1ケ	850	120
OT-8	フロントサイドプレート	㉓×1ケ ㉔×2ケ	250	120
OT-9	ダンバーステー	㉕ ㉖ 各1ケ	350	70
OT-10	メタルセット	㉗×1ケ ㉘×2ケ ㉙×10ケ	300	120
OT-11	サスシャフト	㉚ ㉛ ㉜ ㉝ 各2ケ	350	120
OT-12	メカプレート	㉞×1ケ	600	120
OT-13	サスアームセット	㉟ ㊱ 各2ケ	350	120
OT-14	アンダーガード	㊲×1ケ	250	120
OT-15	フロントバンパー	㊳×1ケ	250	120
OT-16	ナックルアーム	㊴ ㊵ 各1ケ	500	120
OT-17	フロントシャフト	㊶×2ケ	450	120
OT-18	リアシャフト	㊷×2ケ	450	120
OT-19	ドライブワッシャー	㊸×4ケ	250	70
OT-20	メインシャシー	㊹×2ケ	750	120
OT-21	ビス、ナット、レンチセット	キットの袋詰(OP-1)と同じ内容	950	120
OT-22	ボディワッシャー	㊺×10ケ	250	70
OT-23	ピニオンギヤ(12T)	㊻×1ケ	250	120
OT-24	ピニオンギヤ(15T)	㊼×1ケ	250	120
OT-25	ボディ(オブティマ)	㊽×1ケ	1,700	240
OT-26	ドライバー	㊾ ㊿ 各1ケ	450	120
OT-27	スプロケット、ギヤセット	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 各1ケ	750	120
OT-28	デフギヤセット	⑦×2ケ ⑧ ⑨ 各4ケ	750	120
OT-29	Oリング	⑩×10ケ	200	70
OT-30	タイヤ	⑪×2ケ	900	170
OT-31	M3ピロボール	⑫×10ケ	350	70
OT-32	5.8φボール	⑬×10ケ	250	70
OT-33	ボールナット(M2.6)	⑭×10ケ	250	70
OT-34	プレートセット	⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ 各1ケ	300	120
OT-35	アッパーロッドセット	㉑×1ケ ㉒×2ケ ㉓ ㉔ 各4ケ ㉕×8ケ	380	70
OT-36	M2.6ピロボール	㉖×10ケ	350	70
OT-37	コードセット	㉗×1ケ ㉘×1組	400	70
OT-38	シリコングリス(2本入)	㉙×2ケ	300	120
OT-39	Eリング(2.5)	㉚×10ケ	120	70
OT-40	ストラップ(L-150)	㉛×6ケ	180	70
OT-41	ファイナルピニオン	㉜×1ケ	280	120
OT-42	サーボセーバーセット	㉝ ㉞ ㉟ 各1ケ ㊱×1組	350	120
OT-43	リアダンパーセット	㊲×1ケ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ 各2ケ	1,500	120
OT-44	デカール(オブティマ)	㊼×1ケ	300	120
OT-45	リアハブ	㊽ ㊾ 各1ケ	200	120
OT-46	チェーンガイドセット	㊿ ㉑ ㉒ 各1ケ	300	120
OT-47	フロントハブセット	㉓ ㉔ ㉕ 各1ケ	250	120
OT-48	バッテリーホルダーセット	㉖ ㉗ ㉘ 各1ケ ㉙ ㉚ 各2ケ	250	120
OT-49	ギヤカバーセット	㉛ ㉜ ㉝ ㉞ 各1ケ	250	120
SC-40	モーターカバー	㉟×1ケ	350	120
SC-46	両面テープ	㊱×1ケ	180	70
SC-67	コントローラーセット	㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ 各1ケ ㊸×2ケ	1,250	120
SC-78	コントローラーPC板	㊹×1ケ	450	70
SC-79	コントローラー接点	㊺×2ケ	300	70
SC-105	抵抗	㊻×1ケ	350	120
SC-107	コネクター	㊼×1ケ	300	70
SC-89	タイロッド	㊽×2 ㊾ ㊿ 各4ケ	450	70
SC-101	リアシャフトシム	㉑×10ケ	80	70
EF-37	ストラップ(小)	㉒×6ケ	180	70
EF-38	ストラップ(中)サーボ止め用	㉓×6ケ	300	70
EF-39	ニカドストラップ	㉔×6ケ	400	70
EP-22	フックピン	㉕×5ケ	100	70
LD-79	ダンパーブッシュ	㉖×10ケ	300	70
SD-79	アンテナパイプ	㉗×5ケ	250	120
1911	8φ×14ベアリング	㉘×2ケ	700	70
AB-30	フロントダンパー	㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ 各2ケ ㊵×1ケ	1,500	120
オブションパーツ				
OT-50	ピニオンギヤ(13T)	ギヤ比(9.56:1)	250	120
OT-51	・ (14T)	・ (8.87:1)	250	120
OT-52	・ (16T)	・ (7.76:1)	250	120
OT-53	・ (17T)	・ (7.31:1)	250	120
OT-54	スタビライザーセット	フロント及びリアスタビライザーセット	1,000	120
SC-80	4速用抵抗	前進4段兼速用抵抗	650	120
1901	ボールベアリング(5φ×10)	2ケ入り	700	70
1903	・ (4φ×8)	2ケ入り	700	70
1951	ダンパーオイルセット(SMH)	ソフト、メディアム、ハードの3本セット	800	